

Medical checkup center Annual Report 2023



社会医療法人 潤心会

熊本セントラル病院 健診センター 年報

目次

1.施設概要	
1) 概要 理念・基本方針 受診者の権利.....	2
2) 施設概要.....	3
3) 個人情報保護方針.....	4
2.成果と目標.....	5/6
3.予防医療センターオープンにむけて.....	7
4.健診受診者状況	
1) 2023年度 月別受診者推移.....	8
2) 2023年度 受診者内訳.....	9
5.検査別受診者状況	
1) 胸部単純X線検査.....	10/11
2) 上部消化管X線検査（胃透視）.....	12/13
3) 上部消化管内視鏡検査.....	14/15
4) 便検査.....	16/17
5) マンモグラフィー-単-.....	18/19
6) 乳腺エコー-単-.....	20/21
7) マンモグラフィー+乳線エコー.....	22/23
8) 子宮がん検診.....	24/25
9) 心電図.....	26/27
10) 腹部超音波.....	28/29
11) 眼底.....	30/31
12) 血圧.....	32/33
13) 肝機能関連.....	34/35
14) 糖尿病関連.....	36/37
15) 脂質関連検査.....	38/39
16) 胸部CT検査.....	40/41
17) 診察.....	42/43
18) PSA.....	44/45
19) 腎機能.....	46/47
20) 聴力.....	48/49
21) 骨密度.....	50/51
22) MRI/MRA.....	52/53
23) 頸動脈超音波検査.....	54/55
24) 腫瘍マーカー.....	56/57
25) 心エコー.....	58
26) 大腸内視鏡検査.....	59
27) 特定保健指導.....	60/61

当健診センターは、人間ドック健診施設機能評価の認定施設です。
生活習慣病予防に積極的に取り組み、病気の早期発見、早期治療につなげます。
健康づくりのために地域への働きかけや産業保健への取り組みも積極的に行なっています。

● 健診センター理念・基本方針

■ 理 念 受診者の病気予防と治療の連携に努めます。

- 基本方針
- ・ 受診者の皆さんの病気予防と健康増進に努めます。
 - ・ 病気の早期発見に努め、早期治療をすすめます。
 - ・ 受診者の権利とプライバシーを尊重します。
 - ・ 健康に関する啓発・教育活動を進めます。

● 受診者の権利

- ・ 健診に関する結果等の説明と情報提供を受ける権利
- ・ 自らの意思で受診を選択し、決定する権利
- ・ 良質で安全な健診を受ける権利
- ・ 個人の情報を保護される権利
- ・ 意思を述べることのできる権利

施設概要

● 事業概要

健診・健康支援事業

- ・日帰りドック胃透視コース
- ・日帰りドック胃内視鏡コース
- ・2日通所ドックコース
- ・レディースドックコース
- ・脳ドックコース
- ・全国健康保険協会（協会けんぽ）人間ドック及び一般健診
- ・生活習慣予防健診
- ・定期健康診断
- ・特定健診
- ・がん健診
- ・契約健康保険組合
- ・特定保健指導

● 施設認定

- ・日本人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価認定施設

● 人員構成

医師 常勤2名/非常勤5名、保健師 常勤6名/非常勤1名、
看護師 常勤3名/非常勤1名、臨床検査技師 常勤2名、
事務 常勤8名/非常勤5名

個人情報保護方針

当センターでは、以下の個人情報保護方針を定め確実な履行に努めます。

1.個人情報の取得について

当センターが個人情報を取得する場合、業務にかかわる範囲で行います。

その他の目的に個人情報を利用する場合は、利用目的をあらかじめお知らせし、ご了解を得た上で実施いたします。

2.個人情報の利用目的

- ◎医療・健診・人間ドック・健康管理等サービス
- ◎健診実施主体（市町村、事業所、医療保険者等）へ結果通知等（※1）
- ◎医療保険事務
- ◎検体検査業務等の業務委託
- ◎健診の質、サービスの向上を図るためのデータ解析等
- ◎管理運営業務
- ◎他の病院との連携
- ◎他の医療機関等からの照会への回答
- ◎ご家族等への健診結果等の説明
- ◎学会、学術研究、研修会での使用（個人を識別できない形で使用）
- ◎専門医制度等と連携したデータベース事業への提供
- ◎外部監査機関への情報提供
- ◎行政機関との連携
- ◎医療事故等の報告

※1 必要に応じて、法定項目以外の結果も提供することがあります。

3.個人情報の利用および提供について

当センターは、個人情報の利用につきましては以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしません。

- ◎受診者の了解を得た場合
- ◎個人を識別あるいは特定できない状態に加工（※2）して利用する場合
- ◎法令等により提供を要求された場合

当センターは、法令の定める場合や緊急の場合等を除き、受診者の許可なく、その情報を第三者（※3）に提供いたしません。

※2 単に個人の名前のみを消し去ることで匿名化するのではなく、通常の方法では本人を特定できない状態にされていること。（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができるものを除く）

※3 第三者とは、本人および当法人以外をいい、本来の利用目的に該当しない、または本人によりその個人情報の利用の同意を得られていない団体・機関または個人をさす。

当法人の個人情報保護方針、個人情報の利用目的等を、ホームページに掲載しております

1.健康経営の推進

①人間ドック普及・推進活動

・当院ホームページ、人間ドックパンフレットの見直しを行い、一目で項目、料金等分かりやすいものとした（図①）。パンフレット作成に関しては、配布する対象に応じて必要な情報を整理して作成する等工夫し、配布した。健診、人間ドック受診を検討されている企業担当者へは、項目表を提示し、人間ドック受診の重要性を説明したり、予約時には協会けんぽ利用ドックをお勧めし、健診→人間ドック受診へとシフトした。

結果) 人間ドック受診：1843件（前年1822件）

- ・協会けんぽ利用ドック311件（前年309件）
- ・人間ドック受診者増加企業：東京エレクトロン関連341件（前年300件）、大津町役場108件（前年97件）、熊本県市町村職員共済組合38件（25件）、産業医契約事業所226件（前年224件）
- ・新規事業所西日本プラント工業：16名人間ドック受診

2.人間ドック受け入れ体制の充実

①受診者の満足度向上

・人間ドック・健康診断実施、結果処理等、各担当部門毎に定期的に運用の振り返りを行い、臨時の健診センタースタッフミーティングを開催し、問題点の共有、対策立案、改善を図った。また、健診運営会議、他部署連携会議については継続開催し、健診スタッフ間だけでなく、医師、事務長、関連部署との課題検討、改善も行なった。

・ホームページからの予約推進（図②）を図ったり、人間ドック、健康診断の案内時間を分散させ、混雑防止を図った。また、待ち時間短縮のため、検査順序を考慮した案内を行ない、スムーズな受診へと繋げた。

・受診者が良質で安全な検査が受けられる環境の整備として、来所～検査終了まで誤認防止の徹底、事前の物品管理・事前点検、検査前の十分な説明、検査中の声かけを行なった。

2026年4月 予防医療センターオープンにむけて



未来の健康を、今ここから

2026年4月、熊本セントラル病院に新たに「予防医療センター」がオープンします。

健康寿命の延伸に向け、生活習慣の改善をサポートし、病気予防に努め、病気の早期発見、治療に繋げることは、これまで以上に重要となっています。当センターでは、医学的根拠に基づいた精度の高い検査と、健康診断結果に基づいた適切なフォローアップ（事後指導）を通じて、皆様お一人おひとりの”これからの健康”を支える予防医療を提供いたします。

新たに全大腸コース（胃カメラ、大腸カメラを同日検査可能）、消化器ドックを新設予定です。大腸検査は大腸カメラと大腸CT検査から選択できます。
※諸条件あり

高性能な画像診断装置と適切な検査空間、合間に広い空と豊かな緑を一望出来る待合スペースでリラックスしてお過ごしいただけます。

健診結果の説明から、生活改善のアドバイスまで、専門職による丁寧なサポートを実施し健康管理のパートナーとして伴走します。また、当院外来スタッフと連携して病気の早期発見、治療に繋がります。



健診受診者状況 1

人間ドック受診者数詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1日ドック	134	125	182	206	183	178	176	166	133	72	59	67	1681
2日ドック	6	7	7	9	8	2	8	5	5	2	6	5	70

2023年度実績	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	受診者数	継続受診者												
日帰り人間ドック	134	97	125	93	182	125	206	133	183	134	178	134	176	127
2日通所ドック	6	4	7	3	7	3	9	3	8	4	2	1	8	6
胃なしドック	12	6	11	4	4	2	7	5	11	8	12	10	5	2
生活習慣病予防健診	167		178		300		306		323		268		277	
生活習慣病健診（健保型）	40		220		24		27		17		31		115	
法定全項目	201		202		221		290		392		211		239	
特定健診	4		4		15		9		13		16		11	
その他	30		33		23		47		36		14		41	
出張健診	60		326		175		0		23		0		2	
合計	654		1106		951		901		1006		732		874	

2023年度実績	11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	受診者数	継続受診者	受診者数	継続受診者								
日帰り人間ドック	166	117	133	90	72	54	59	38	67	44	1681	1186
2日通所ドック	5	4	5	4	2	1	6	3	2	1	67	37
胃なしドック	15	9	6	5	3	3	5	5	5	3	96	62
生活習慣病予防健診	268		204		206		511		245		3253	
生活習慣病健診（健保型）	104		14		12		12		22		638	
法定全項目	267		182		239		181		395		3020	
特定健診	27		11		7		10		9		136	
その他	50		48		42		28		43		435	
出張健診	197		71		0		0		88		942	
合計	1099		674		583		812		876		10268	

健診受診者状況 2

2023年度 月別/年齢別受診者内訳

2023年種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	153	41	642	139	22	11	1008
胃なしドック	12	2	28	12	2	1	57
2日ドック	1	0	33	3	2	0	39

2023年4月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	30	5	87	12	0	0	134
胃なしドック	4	1	4	2	0	1	12
2日ドック	0	0	6	0	0	0	6
2023年5月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	17	7	81	14	3	3	125
胃なしドック	4	1	3	3	0	0	11
2日ドック	0	0	6	0	1	0	7
2023年6月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	28	9	109	26	8	2	182
胃なしドック	1	0	2	0	1	0	4
2日ドック	1	0	5	1	0	0	7
2023年7月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	38	6	126	31	3	2	206
胃なしドック	1	0	5	1	0	0	7
2日ドック	0	0	8	1	0	0	9
2023年8月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	21	8	112	35	4	3	183
胃なしドック	2	0	6	2	1	0	11
2日ドック	0	0	6	1	1	0	8
2023年9月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	19	6	127	21	4	1	178
胃なしドック	0	0	8	4	0	0	12
2日ドック	0	0	2	0	0	0	2
2023年10月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	29	6	91	41	6	3	176
胃なしドック	0	1	2	2	0	0	5
2日ドック	0	0	8	0	0	0	8
2023年11月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	30	4	100	29	2	1	166
胃なしドック	1	1	9	4	0	0	15
2日ドック	1	0	3	0	1	0	5
2023年12月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	11	7	70	43	0	2	133
胃なしドック	1	0	3	1	0	1	6
2日ドック	0	0	4	0	1	0	5
2024年1月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	3	1	42	26	0	0	72
胃なしドック	0	1	2	0	0	0	0
2日ドック	0	1	0	0	1	0	2
2024年2月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	7	2	30	20	0	0	59
胃なしドック	0	0	1	4	0	0	5
2日ドック	1	0	3	2	0	0	6
2024年3月種別	39歳以下		40-74歳		75歳以上		計 (人)
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
一日ドック	14	2	40	11	0	0	67
胃なしドック	1	0	3	1	0	0	5
2日ドック	0	0	1	1	0	0	2

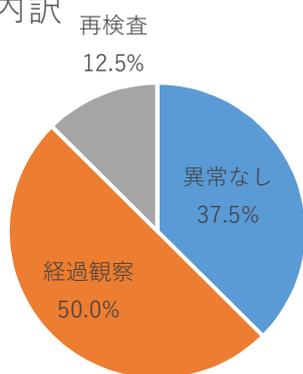
検査別受診者状況

■胸部X線 人間ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし/軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	22	6	0	0	0	0	0	0	0	0	22	6	0	0
30～34	71	14	0	0	0	0	1	0	1 (1.4%)	0	70	14	0	0
35～39	187	50	0	0	0	0	5	1	5 (2.7%)	1 (2.0%)	182	49	0	0
40～44	198	65	2	0	0	0	8	1	10 (5.1%)	1 (1.5%)	188	64	0	0
45～49	236	67	4	0	0	0	2	1	6 (2.5%)	1 (1.5%)	228	66	1	0
50～54	246	52	2	0	0	0	10	2	12 (4.9%)	2 (3.8%)	234	49	0	1
55～59	172	47	2	0	0	0	13	5	15 (8.7%)	5 (10.6%)	156	42	1	0
60～64	104	43	3	1	0	0	9	4	12 (11.5%)	5 (11.6%)	88	36	4	2
65～69	88	27	3	0	0	0	9	4	12 (13.6%)	4 (14.8%)	69	22	7	1
70才以上	91	52	3	3	0	1	14	9	17 (18.7%)	13 (25.0%)	66	36	8	3
計	1415	423	19	4	0	1	71	27	90 (6.4%)	32 (7.6%)	1303	384	21	7
合計	1838		23 (1.3%)		1 (0.1%)		98 (5.3%)		122 (6.6%)		1687 (91.8%)		28 (1.5%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	23	16	(69.6%)	6	8	2	0	0	7

受診結果内訳

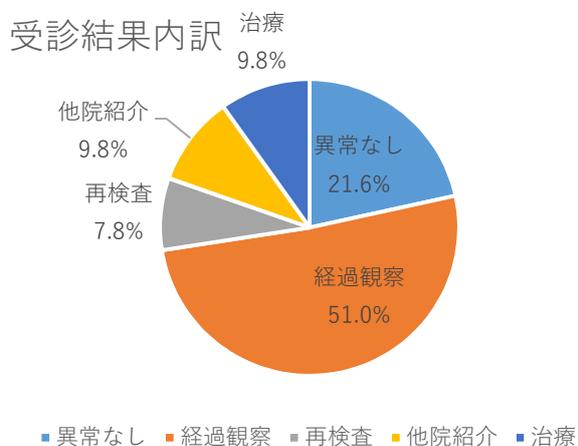


■ 異常なし ■ 経過観察 ■ 再検査 ■ 他院紹介 ■ 治療

■胸部X線 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	909	519	1	1	0	0	13	2	14 (1.5%)	3 (0.6%)	895	516	0	0
30～34	549	269	3	0	0	0	17	3	20 (3.6%)	3 (1.1%)	529	264	0	2
35～39	539	345	2	4	0	0	18	9	20 (3.7%)	13 (3.8%)	517	332	2	0
40～44	475	352	6	4	0	0	21	10	27 (5.7%)	14 (4.0%)	446	338	2	0
45～49	466	318	6	2	0	0	28	15	34 (7.3%)	17 (5.3%)	429	300	3	1
50～54	432	233	6	3	0	0	33	13	39 (9.0%)	16 (6.9%)	390	217	3	0
55～59	347	186	10	6	0	0	29	15	39 (11.2%)	21 (11.3%)	298	162	10	3
60～64	297	136	7	7	0	0	34	11	41 (13.8%)	18 (13.2%)	253	115	3	3
65～69	218	94	6	5	0	0	22	16	28 (12.8%)	21 (22.3%)	187	72	3	1
70才以上	100	44	5	2	0	0	17	9	22 (22.0%)	11 (25.0%)	73	29	5	4
計	4332	2496	52	34	0	0	232	103	284 (6.6%)	137 (5.5%)	4017	2345	31	14
合計	6828		86 (1.3%)		0		335 (4.9%)		421 (6.2%)		6362 (93.2%)		45 (0.7%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	86	51	(59.3%)	11	26	4	5	5	35



- 【治療理由】
- ・心拡大 2件
 - ・慢性閉塞性肺疾患・右上葉肺炎 1件
 - ・肺炎 1件
 - ・右上葉コンソリデーション 1件
- 【他院紹介理由】
- ・肺がん 1件
 - ・肺がん疑い 3件
 - ・間質性肺炎 1件

人間ドック 有所見率6.6% 要精査率1.3% 精査受診率69.6%

健康診断 有所見率6.2% 要精査率1.3% 精査受診率59.3%

有所見率は、人間ドック・健診ともに6%台となっており、2023年度厚生労働省「定期健康診断実施結果」の有所見率4.6%と比較してやや高い。男女とも年齢に比例して有所見率も上昇している。

人間ドックでは精査受診率は69.6%。所見として過去の肺炎や炎症の跡、血管影などがみられた。精査の結果、治療開始の対象者はなかった。

一方、健診では精査受診率は59.3%。精査の結果、4名は肺がんや肺がん疑いで他院紹介となり、他4名は心拡大や肺疾患で治療開始となった。

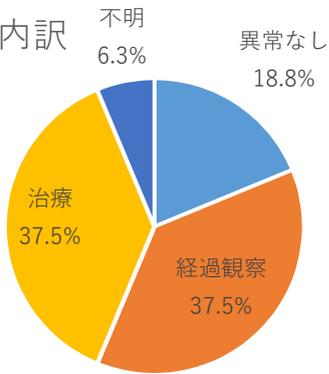
胸部X線検査は肺がんや肺結核、肺炎などの肺疾患、心肥大や大動脈瘤といった心疾患を発見する機会となる。喫煙や動脈硬化を進める生活習慣も検査結果に影響を及ぼすため禁煙指導等も併せて受診勧奨を行う必要がある。

■上部消化管X線検査（胃透視）ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	4	3	1	0	0	0	0	0	1 (25.0%)	0	3	3	0	0
30～34	29	2	3	0	0	0	0	0	3 (10.3%)	0	26	2	0	0
35～39	36	5	2	0	0	0	4	0	6 (16.7%)	0	30	5	0	0
40～44	44	10	4	0	0	0	8	0	12 (27.3%)	0	32	10	0	0
45～49	41	7	4	0	0	0	6	2	10 (24.4%)	2 (28.6%)	31	5	0	0
50～54	38	8	3	1	0	0	2	1	5 (13.2%)	2 (25.0%)	33	6	0	0
55～59	29	6	4	0	0	0	4	0	8 (27.6%)	0	21	6	0	0
60～64	16	2	1	0	0	0	3	1	4 (25.0%)	1 (50.0%)	12	1	0	0
65～69	3	3	1	0	0	0	0	0	1 (33.3%)	0	2	3	0	0
70才以上	7	1	2	0	0	0	1	1	3 (42.9%)	1 (100.0%)	4	0	0	0
計	247	47	25	1	0	0	28	5	53 (21.5%)	6 (12.8%)	194	41	0	0
合計	294		26 (8.8%)		0		33 (11.2%)		59 (20.1%)		235 (79.9%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	他院紹介	治療	不明	
	26	16	(61.5%)	3	6	0	6	1	10

受診結果内訳



■ 異常なし ■ 経過観察 ■ 他院紹介 ■ 治療 ■ 不明

【治療理由】

- ・ヘリコバクター・ピロリ菌除菌 4件
- ・十二指腸炎 1件
- ・逆流性食道炎 1件

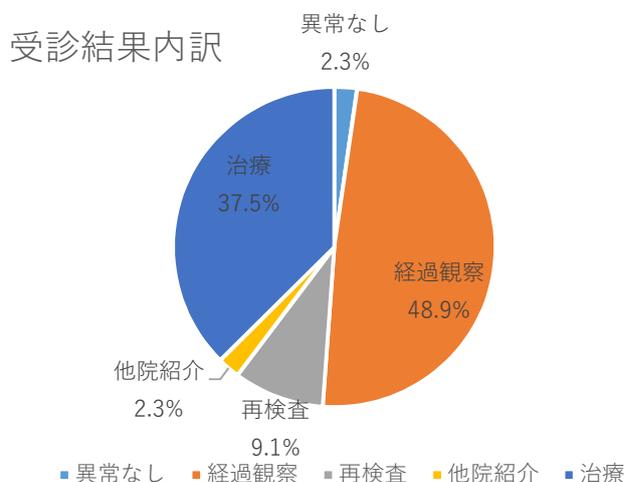
【他院紹介理由】

- ・0件

■上部消化管X線検査（胃透視）健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
30～34	38	12	4	2	0	0	2	0	6 (15.8%)	2 (16.7%)	32	10	0	0
35～39	305	124	19	4	0	0	31	9	50 (16.4%)	13 (10.5%)	254	111	1	0
40～44	251	127	15	5	0	0	26	13	41 (16.3%)	18 (14.2%)	210	109	0	0
45～49	252	102	33	6	0	0	38	15	71 (28.2%)	21 (20.6%)	181	81	0	0
50～54	202	75	36	7	0	0	40	16	76 (37.6%)	23 (30.7%)	126	52	0	0
55～59	143	40	22	3	0	0	28	3	50 (35.0%)	6 (15.0%)	91	31	2	3
60～64	109	36	33	2	0	0	30	9	63 (57.8%)	11 (30.6%)	44	25	2	0
65～69	83	12	16	1	0	0	25	4	41 (49.4%)	5 (41.7%)	42	7	0	0
70才以上	23	2	9	1	0	0	7	0	16 (69.6%)	1 (50.0%)	7	1	0	0
計	1410	530	187	31	0	0	227	69	414 (29.4%)	100 (18.9%)	991	427	5	3
合計	1940		218 (11.2%)		0		296 (15.3%)		514 (26.5%)		1418 (73.1%)		8 (0.4%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	218	88	(40.4%)	2	43	8	2	33	130



【治療理由】

- ・ピロリ菌除菌 24件
- ・逆流性食道炎 8件
- ・胃潰瘍 1件

【他院紹介理由】

- ・早期胃癌疑い 1件
- ・胃粘膜下腫瘍 1件

人間ドック 有所見率：20.1% 要精査率：8.8% 精査受診率：61.5%
 健康診断 有所見率：26.5% 要精査率：11.2% 精査受診率：40.4%

人間ドックでのバリウム検査の件数は294件と、人間ドック全体の16%だった。対して健診での胃の検査はバリウム検査が基本であるため、バリウム検査数が多い。

有所見率は、人間ドックでは20.1%、健診では26.5%であり、どちらも男性の有所見率が高い。検査受診年齢が40歳代から50歳代が多いため有所見者数もその年代が中心となるが、60～70歳代で有所見率が高いのは、年齢によるものとする。

人間ドックの精査率は8.8%となっており、精査受診率は60%台にとどまっている。

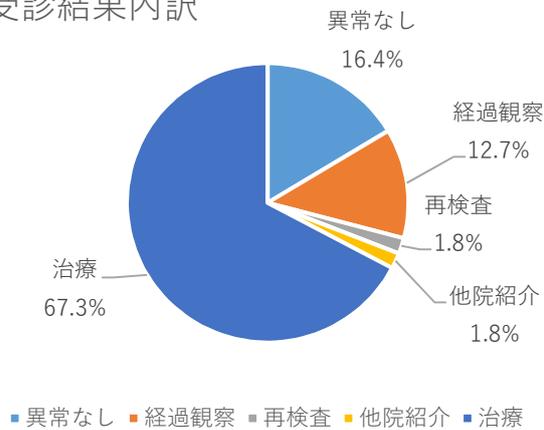
対して健診での精査率は11.2%となっており初回者は42.2%、継続受診者が57.8%であった。継続受診者の精査未受診率は29.3%にとどまっていた。人間ドックの方が精査受診率は高くはなっているが、今後はいかに精査受診率を向上させるかが今後の課題である。

■上部消化管内視鏡検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中		
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	0	0
30～34	42	10	1	1	0	0	7	1	8 (19.0%)	2 (20.0%)	34	8	0	0	
35～39	147	44	11	1	0	1	47	4	58 (39.5%)	6 (13.6%)	89	38	0	0	
40～44	145	52	9	2	0	0	56	15	65 (44.8%)	17 (32.7%)	79	35	1	0	
45～49	184	54	5	2	0	0	79	16	84 (45.7%)	18 (33.3%)	100	36	0	0	
50～54	199	41	11	1	0	0	81	20	92 (46.2%)	21 (51.2%)	107	20	0	0	
55～59	137	38	5	2	0	0	74	9	79 (57.7%)	11 (28.9%)	58	27	0	0	
60～64	84	39	4	1	1	0	44	17	49 (58.3%)	18 (46.2%)	35	21	0	0	
65～69	81	19	10	2	1	0	42	13	53 (65.4%)	15 (78.9%)	28	4	0	0	
70才以上	77	46	10	2	1	1	46	19	57 (74.0%)	22 (47.8%)	20	24	0	0	
計	1103	345	66	14	3	0	476	114	545 (49.4%)	130 (37.7%)	557	215	1	0	
合計	1448		80 (5.5%)		3 (0.2%)		590 (40.7%)		675 (46.6%)		772 (53.3%)		1 (0.1%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	80	55	(68.8%)	9	7	1	1	37	25

受診結果内訳



【治療理由】

- ・ 中部食道早期癌 1件
- ・ ヘリコバクター・ピロリ菌除菌 18件
- ・ 胃腺腫 1件
- ・ 十二指腸潰瘍・癒痕 2件
- ・ 逆流性食道炎 13件
- ・ 食道カンジダ 1件

【他院紹介理由】

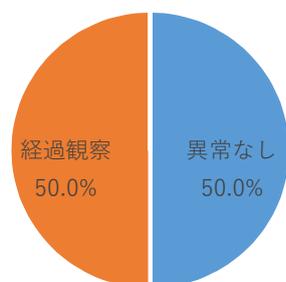
- ・ 食道アカラシア疑い 1件

■上部消化管内視鏡検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	11	17	0	2	0	0	4	2	4 (36.4%)	4 (23.5%)	7	13	0	0
40～44	5	25	0	1	0	0	2	6	2 (40.0%)	7 (28.0%)	3	18	0	0
45～49	5	26	1	2	0	0	2	6	3 (60.0%)	8 (30.8%)	2	18	0	0
50～54	10	15	0	3	0	0	7	8	7 (70.0%)	11 (73.3%)	3	4	0	0
55～59	3	5	0	0	0	0	1	1	1 (33.3%)	1 (20.0%)	2	4	0	0
60～64	1	6	0	0	0	0	1	5	1 (100.0%)	5 (83.3%)	0	1	0	0
65～69	2	3	0	0	0	0	2	1	2 (100.0%)	1 (33.3%)	0	2	0	0
70才以上	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1 (100.0%)	0	0	0	0
計	37	98	1	8	0	0	19	30	20 (54.1%)	38 (38.8%)	17	60	0	0
合計	135		9 (6.7%)		0		49 (36.3%)		58 (43.0%)		77 (57.0%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	9	8	(88.9%)	4	4	0	0	0	1

受診結果内訳



■ 異常なし ■ 経過観察 ■ 再検査 ■ 他院紹介 ■ 治療

人間ドック 有所見率：46.6% 要精査率：5.5% 精査受診率：68.8%

健康診断 有所見率：43.0% 要精査率：6.7% 精査受診率：88.9%

人間ドックの要精査率は全体の5.5%となっており、年齢別でみると30歳代後半、50・60歳代後半、70歳代で多くなっている。男女別でみると、男性の有所見率が高く、喫煙・飲酒、ストレスや生活習慣も関与していると考えられる。

要精査者の所見をみると、90%以上がピロリ菌検査の推奨や逆流性食道炎の治療を勧めている。その為、精査受診結果もピロリ菌治療や逆流性食道炎の治療も60%程度となっている。

一方、健診では80%に逆流性食道炎・食道裂孔ヘルニアが認められ、症状に対する治療も勧められていた。

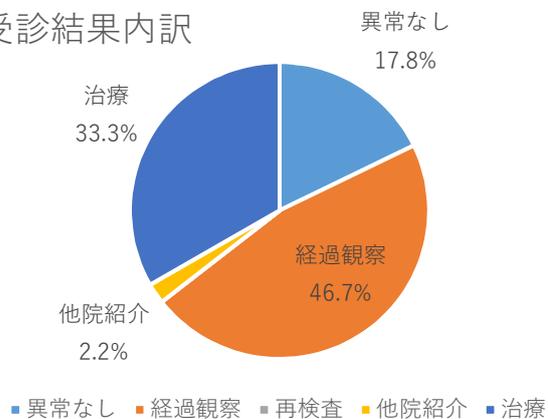
(※当センターの体制として上部消化管内視鏡検査は人間ドック、限られた対象者のみ)

■便潜血検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	21	4	0	0
30～34	69	13	5	0	0	0	0	0	5 (7.2%)	0	64	13	0	0
35～39	182	50	7	3	0	0	0	0	7 (3.8%)	3 (6.0%)	173	46	2	1
40～44	191	64	4	1	0	0	0	0	4 (2.1%)	1 (1.6%)	186	62	1	1
45～49	225	64	8	2	0	0	0	0	8 (3.6%)	2 (3.1%)	213	62	4	0
50～54	243	50	12	6	0	0	0	0	12 (4.9%)	6 (12.0%)	231	43	0	1
55～59	164	46	12	0	0	0	0	0	12 (7.3%)	0	152	45	0	1
60～64	99	42	8	0	0	0	0	0	8 (8.1%)	0	91	41	0	1
65～69	84	27	3	0	0	0	0	0	3 (3.6%)	0	80	27	1	0
70才以上	91	49	6	1	0	0	0	0	6 (6.6%)	1 (2.0%)	85	48	0	0
計	1369	409	65	13	0	0	0	0	65 (4.7%)	13 (3.2%)	1296	391	8	5
合計	1778		78 (4.4%)		0		0		78 (4.4%)		1687 (94.9%)		13 (0.7%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	78	45	(57.7%)	8	21	0	1	15	33

受診結果内訳



【治療理由】

- ・大腸腺腫・ポリープ 14件
- ・有茎性病変 1件

【他院紹介理由】

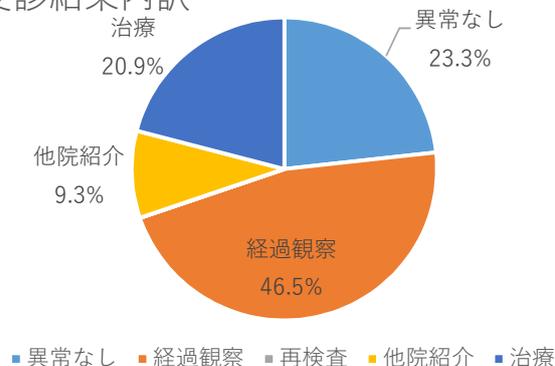
- ・管状腺腫 (Group3) 1件

■便潜血検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	58	3	2	0	0	0	0	0	2 (3.4%)	0	56	3	0	0
30～34	73	33	5	6	0	0	0	0	5 (6.8%)	6 (18.2%)	68	27	0	0
35～39	431	248	19	3	1	0	1	2	21 (4.9%)	5 (2.0%)	407	241	3	2
40～44	373	272	16	12	0	0	0	1	16 (4.3%)	13 (4.8%)	356	259	1	0
45～49	366	233	19	7	0	0	0	0	19 (5.2%)	7 (3.0%)	346	225	1	1
50～54	354	169	25	10	1	0	0	1	26 (7.3%)	11 (6.5%)	324	158	4	0
55～59	271	129	19	6	0	0	1	0	20 (7.4%)	6 (4.7%)	250	123	1	0
60～64	233	100	16	6	0	0	0	0	16 (6.9%)	6 (6.0%)	214	93	3	1
65～69	175	69	19	3	0	0	0	0	19 (10.9%)	3 (4.3%)	154	65	2	1
70才以上	71	20	8	0	0	0	0	0	8 (11.3%)	0	63	20	0	0
計	2405	1276	148	53	2	0	2	4	152 (6.3%)	57 (4.5%)	2238	1214	15	5
合計	3681		201 (5.5%)		2 (0.1%)		6 (0.2%)		209 (5.7%)		3452 (93.8%)		20 (0.5%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	201	43	(21.4%)	10	20	0	4	9	158

受診結果内訳



【治療理由】

- ・がん（進行直腸がん） 1件
- ・大腸ポリープ 7件
- ・大腸腺腫 1件

【他院紹介理由】

- ・がん（S状結腸がん） 1件
- ・大腸ポリープ 1件
- ・大腸腺腫 1件

人間ドック 有所見率：4.4% 要精査率：4.4% 精査受診率：57.7%

健康診断 有所見率：5.7% 要精査率：5.5% 精査受診率：21.4%

便潜血検査は大腸がんのスクリーニング検査として行われる。大腸がんは40～50歳代で急増し60～70歳代でピークを迎えると言われており、要精査数が男女とも50歳代に多いのは、大腸がんの好発年齢と一致している。

人間ドックでは、精査受診率は57.7%で精査の結果、大腸腺腫やポリープにて治療となっている。

2026年度よりドック受診日に便潜血検査の結果を伝える予定であり、受診勧奨の機会が増える事で精査受診率の向上が期待される。

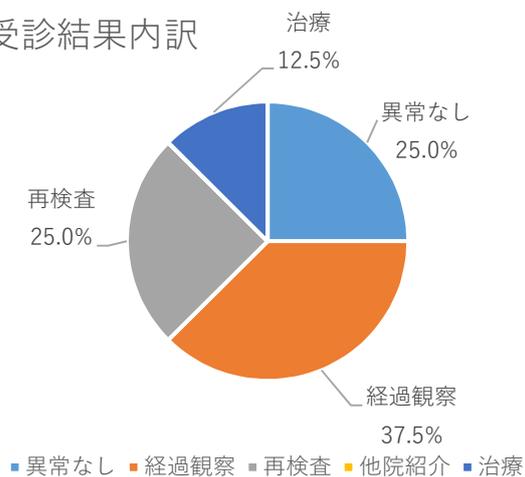
健診では、精査の結果、2名ががんの診断（進行直腸がん、S状結腸がん）であったが、精査受診率が21.4%とかなり低い。要精査者の中には当センター受診歴があり、過去にも要精査判定を受けている者も多数みられる。生理中や痔と思ひ込み、受診機会を逃している者も多い。検査の意義を含め、検査結果を有効的に活用できるよう受診勧奨する必要がある。

■マンモグラフィー単一 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
19才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	0	8	0	2	0	0	0	0	0	2 (25.0%)	0	6	0	0
40～44	0	20	0	2	0	0	0	1	0	3 (15.0%)	0	17	0	0
45～49	0	12	0	2	0	0	0	0	0	2 (16.7%)	0	10	0	0
50～54	0	16	0	2	0	0	0	0	0	2 (12.5%)	0	14	0	0
55～59	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0
60～64	0	7	0	2	0	0	0	0	0	2 (28.6%)	0	5	0	0
65～69	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
70才以上	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0
計	0	87	0	10	0	0	0	1	0	11 (12.6%)	0	76	0	0
合計	87		10 (11.5%)		0		1 (1.1%)		11 (12.6%)		76 (87.4%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	10	8	(80.0%)	2	3	2	0	1	2

受診結果内訳



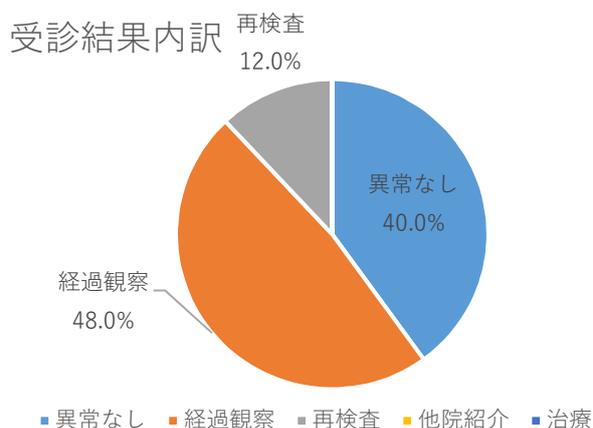
【治療理由】

・非浸潤性乳がん 1件

■マンモグラフィー単一 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
19才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1 (100.0%)	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	0	20	0	4	0	0	0	0	0	4 (20.0%)	0	16	0	0
40～44	0	88	0	13	0	0	0	2	0	15 (17.0%)	0	73	0	0
45～49	0	78	0	7	0	0	0	2	0	9 (11.5%)	0	69	0	0
50～54	0	62	0	6	0	0	0	2	0	8 (12.9%)	0	54	0	0
55～59	0	39	0	7	0	0	0	0	0	7 (17.9%)	0	32	0	0
60～64	0	37	0	1	0	0	0	1	0	2 (5.4%)	0	35	0	0
65～69	0	30	0	1	0	0	0	1	0	2 (6.7%)	0	28	0	0
70才以上	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
計	0	359	0	40	0	0	0	8	0	48 (13.4%)	0	311	0	0
合計	359		40 (11.1%)		0		8 (2.2%)		48 (13.4%)		311 (86.6%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	40	25	(62.5%)	10	12	3	0	0	15



人間ドック 有所見率：12.6% 要精査率：11.5% 精査受診率：80.0%
 健康診断 有所見率：13.4% 要精査率：11.1% 精査受診率：62.5%

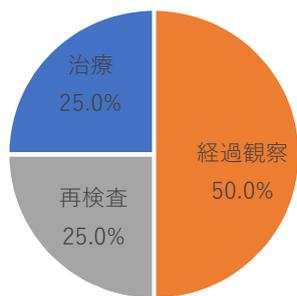
マンモグラフィー検査は、乳腺密度の高い若年層よりも40歳以降の方に推奨され、また乳腺の石灰化を検出しやすくしこりを作らない石灰化を伴うがんの早期発見に有効である。
 当院受診者層も人間ドックや健診に差はなく40歳以上が90%近くを占めている。
 要精査率は11%台で人間ドック・健診共に精査率許容値を保持出来ている。

■乳腺エコー単一 人間ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
19才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
25～29	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1 (100.0%)	0	0	0	0
30～34	0	5	0	1	0	0	0	1	0	2 (40.0%)	0	3	0	0
35～39	0	17	0	1	0	0	0	6	0	7 (41.2%)	0	10	0	0
40～44	0	13	0	0	0	0	0	4	0	4 (30.8%)	0	8	0	1
45～49	0	12	0	1	0	0	0	3	0	4 (33.3%)	0	8	0	0
50～54	0	10	0	0	0	0	0	1	0	1 (10.0%)	0	9	0	0
55～59	0	4	0	1	0	0	0	1	0	2 (50.0%)	0	2	0	0
60～64	0	3	0	0	0	0	0	2	0	2 (66.7%)	0	1	0	0
65～69	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
70才以上	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
計	0	71	0	4	0	0	0	19	0	23 (32.4%)	0	47	0	1
合計	71		4 (5.6%)		0		19 (26.8%)		23 (32.4%)		47 (66.2%)		1 (1.4%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	4	4	(100.0%)	0	2	1	0	1	0

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

【治療理由】

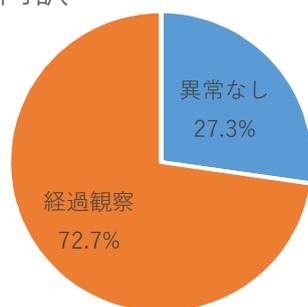
・乳がん 1件

■乳腺エコー単一 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中		
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
19才以下	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
20～24	0	21	0	0	0	0	0	2	0	2 (9.5%)	0	19	0	0	
25～29	0	40	0	2	0	0	0	2	0	4 (10.0%)	0	36	0	0	
30～34	0	23	0	1	0	0	0	4	0	5 (21.7%)	0	18	0	0	
35～39	0	32	0	3	0	0	0	4	0	7 (21.9%)	0	25	0	0	
40～44	0	24	0	2	0	0	0	5	0	7 (29.2%)	0	17	0	0	
45～49	0	13	0	1	0	0	0	1	0	2 (15.4%)	0	11	0	0	
50～54	0	13	0	0	0	0	0	4	0	4 (30.8%)	0	9	0	0	
55～59	0	8	0	1	0	0	0	1	0	2 (25.0%)	0	6	0	0	
60～64	0	6	0	2	0	0	0	1	0	3 (50.0%)	0	3	0	0	
65～69	0	5	0	2	0	0	0	0	0	2 (40.0%)	0	3	0	0	
70才以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	188	0	14	0	0	0	24	0	38 (20.2%)	0	150	0	0	
合計	188		14 (7.4%)		0		24 (12.8%)		38 (20.2%)		150 (79.8%)		0		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	14	11	(78.6%)	3	8	0	0	0	3

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

人間ドック 有所見率：32.4% 要精査率：5.6% 精査受診率：100%
 健康診断 有所見率：20.2% 要精査率：7.4% 精査受診率：78.6%

健診の乳腺エコー検査は若年層（20～40歳代）が受診者の80%以上を占めているが、人間ドックでは若年層に限らず40～50歳代に渡っている。人間ドック受診年齢が若年では少ないことが影響していると思われる。

有所見率・要精査率は健診と人間ドック間では大差は見られなかった。継続受診して頂く事で前回検査時の画像との比較ができ、今後の検査精度を上げることが出来ていると考える。

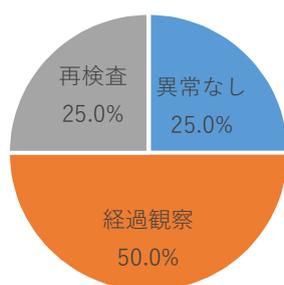
精査受診率は人間ドックで100%、健診で79%と高めの受診率である。精査結果は乳腺症が多く次いで線維線腫で、引き続きの経過観察となっている。

■マンモグラフィ+乳腺エコー 人間ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
19才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
25～29	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2 (100.0%)	0	0	0	0
30～34	0	2	0	1	0	0	0	1	0	2 (100.0%)	0	0	0	0
35～39	0	11	0	1	0	0	0	4	0	5 (45.5%)	0	6	0	0
40～44	0	11	0	0	0	0	0	3	0	3 (27.3%)	0	8	0	0
45～49	0	21	0	3	0	0	0	0	0	3 (14.3%)	0	18	0	0
50～54	0	16	0	1	0	0	0	1	0	2 (12.5%)	0	14	0	0
55～59	0	13	0	1	0	0	0	3	0	4 (30.8%)	0	9	0	0
60～64	0	11	0	0	0	0	0	1	0	1 (9.1%)	0	10	0	0
65～69	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0
70才以上	0	5	0	2	0	0	0	0	0	2 (40.0%)	0	3	0	0
計	0	101	0	9	0	0	0	15	0	24 (23.8%)	0	77	0	0
合計	101		9 (8.9%)		0		15 (14.9%)		24 (23.8%)		77 (76.2%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	9	8	(88.9%)	2	4	2	0	0	1

受診結果内訳



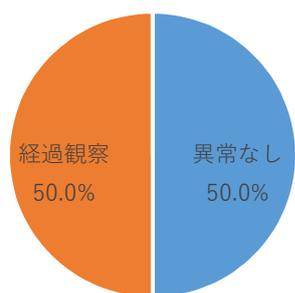
■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

■マンモグラフィー+乳腺エコー 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
19才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (1.0%)	0	0	0
25～29	0	2	0	1	0	0	0	1	0	2 (100.0%)	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	0	5	0	1	0	0	0	3	0	4 (80.0%)	0	1	0	0
40～44	0	8	0	1	0	0	0	2	0	3 (37.5%)	0	5	0	0
45～49	0	3	0	1	0	0	0	1	0	2 (66.7%)	0	1	0	0
50～54	0	6	0	0	0	0	0	2	0	2 (33.3%)	0	4	0	0
55～59	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1 (100.0%)	0	0	0	0
60～64	0	3	0	1	0	0	0	1	0	2 (66.7%)	0	1	0	0
65～69	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
70才以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	29	0	6	0	0	0	10	0	16 (55.2%)	0	13	0	0
合計	29		6 (20.7%)		0		10 (34.5%)		16 (55.2%)		13 (44.8%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	6	4	(66.7%)	2	2	0	0	0	2

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

人間ドック 有所見率：23.8% 要精査率：8.9% 精査受診率：88.9%

健康診断 有所見率：55.2% 要精査率：20.7% 要精査受診率：66.7%

人間ドックにおいて、マンモグラフィー・乳腺エコー併用検査者はそれぞれの検査の単独検診より受診者数が多い。自治体での健診はマンモグラフィを基本としているため、併用健診をされる方はまだまだ少ない。

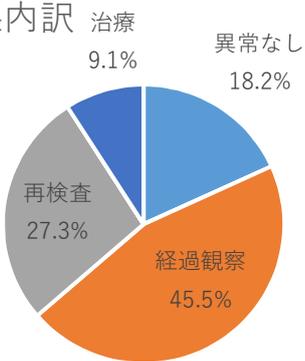
人間ドックは要精査率が8.9%となっており、プロセス指標におけるマンモグラフィーの精査率許容値内である。一方、健診は併用受診者数が少ないなか、要精査率が高めである。精査受診率も人間ドックでは89%、健診で67%となり、精査後の結果は乳腺症など経過観察となるものが多かった。マンモグラフィー・乳腺エコー併用検査をすることで、それぞれの検査の欠点を補い、乳がん検出の感度を上げることが出来、より正確な診断に繋がるため併用検査の推奨に努めていきたい。

■子宮がん健診 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
19才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
25～29	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
30～34	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
35～39	0	36	0	1	0	0	0	5	0	6 (16.7%)	0	30	0	0
40～44	0	37	0	2	0	0	0	14	0	16 (43.2%)	0	20	0	1
45～49	0	43	0	2	0	0	0	16	0	18 (41.9%)	0	25	0	0
50～54	0	34	0	5	0	0	0	12	0	17 (50.0%)	0	17	0	0
55～59	0	24	0	1	0	2	0	6	0	9 (37.5%)	0	15	0	0
60～64	0	19	0	1	0	1	0	5	0	7 (36.8%)	0	12	0	0
65～69	0	15	0	0	0	1	0	2	0	3 (20.0%)	0	12	0	0
70才以上	0	11	0	0	0	2	0	0	0	2 (18.2%)	0	9	0	0
計	0	230	0	12	0	6	0	60	0	78 (33.9%)	0	151	0	1
合計	230		12 (5.2%)		6 (2.6%)		60 (26.1%)		78 (33.9%)		151 (65.7%)		1 (0.4%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	12	11	(91.7%)	2	5	3	0	1	1

受診結果内訳



【治療理由】

・ 早期閉経 1件

【他院紹介理由】

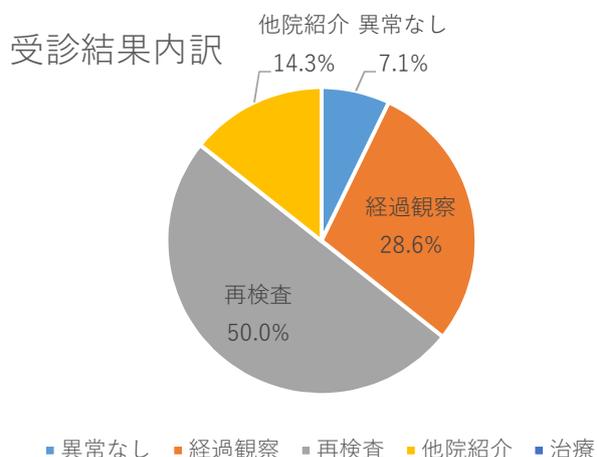
・ 0件

■ 異常なし ■ 経過観察 ■ 再検査 ■ 他院紹介 ■ 治療

■子宮がん健診 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
19才以下		6		0		0		0	0	0		6		0
20～24		29		0		1		1	0	2 (6.9%)		26		1
25～29		60		5		1		9	0	15 (25.0%)		45		0
30～34		46		3		1		8	0	12 (26.1%)		33		1
35～39		72		2		1		17	0	20 (27.8%)		51		1
40～44		90		2		0		20	0	22 (24.4%)		67		0
45～49		66		2		0		14	0	16 (24.2%)		50		0
50～54		58		5		0		19	0	24 (41.4%)		34		0
55～59		35		0		1		9	0	10 (28.6%)		25		0
60～64		33		0		0		5	0	5 (15.2%)		28		0
65～69		27		1		0		5	0	6 (22.2%)		21		0
70才以上		3		0		0		0	0	0		3		0
計	0	525	0	20	0	5	0	107	0	132 (25.1%)	0	389	0	3
合計	525		20 (3.8%)		5 (1.0%)		107 (20.4%)		132 (25.1%)		389 (74.1%)		3 (0.6%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	20	14	(70.0%)	1	4	7	2	0	6



【治療理由】
・0件

【他院紹介理由】
・HSIL CIN3 1件

人間ドック 有所見率：33.9% 要精査率：5.2% 精査受診率：91.7%

健康診断 有所見率：25.1% 要精査率：3.8% 精査受診率：70.0%

子宮頸がんは好発年齢が30歳代後半～40歳代と言われているが、近年は20代～30代の若年層でも罹患率の高いがんである。

人間ドック・健診ともに要精査者は25～50代に多くみられ、好発年齢と一致する。

人間ドックでは、精査受診率は91.7%と高い。精査受診の結果、1名は早発閉経にてホルモン治療開始となった。

健診では、要精査者は、細胞診16名、内診・超音波検査4名だった。精査受診率は70.0%と人間ドックと比較すると低い。人間ドックとは違い、健診では20-30歳代の若年層も受けており、婦人科検査に抵抗がある、妊娠・出産による受診の機会がなく相談しにくいなどの理由が考えられる。精査受診の結果、1名は前がん病変と言われるCIN3で他院紹介となった。

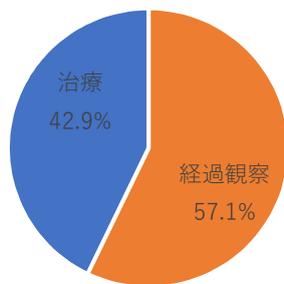
羞恥心により婦人科受診に抵抗がある者も多いが、子宮頸がんは初期症状がほとんどないため、定期的な検診による早期発見・早期治療が重要である。今後、若年層に働きかける等、受診勧奨を工夫していく必要がある。

■心電図検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	22	6	0	0	0	0	0	0	0	0	22	6	0	0
30～34	71	15	0	0	0	0	3	0	3 (4.2%)	0	68	15	0	0
35～39	187	53	0	0	0	0	9	3	9 (4.8%)	3 (5.7%)	177	50	1	0
40～44	198	66	0	1	0	0	16	4	16 (8.1%)	5 (7.6%)	182	61	0	0
45～49	236	67	0	0	1	0	9	5	10 (4.2%)	5 (7.5%)	218	59	8	3
50～54	246	52	1	1	0	0	17	2	18 (7.3%)	3 (5.8%)	221	49	7	0
55～59	172	47	0	0	0	0	23	4	23 (13.4%)	4 (8.5%)	147	43	2	0
60～64	104	43	0	0	0	0	17	5	17 (16.3%)	5 (11.6%)	80	38	7	0
65～69	88	27	1	0	0	0	13	1	14 (15.9%)	1 (3.7%)	64	26	10	0
70才以上	92	52	2	1	0	0	13	8	15 (16.3%)	9 (17.3%)	62	40	15	3
計	1416	428	4	3	1	0	120	32	125 (8.8%)	35 (8.2%)	1241	387	50	6
合計	1844		7 (0.4%)		1 (0.1%)		152 (8.2%)		160 (8.7%)		1628 (88.3%)		56 (3.0%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	7	7	(100.0%)	0	4	0	0	3	0

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

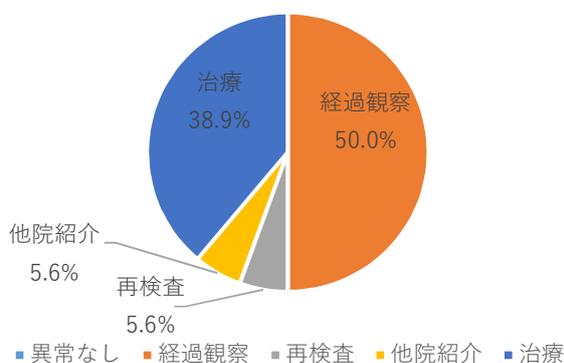
<p>【治療理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 胸部大動脈瘤 1件 心房細動 1件 <p>【他院紹介理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 0件

■心電図検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況									異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	980	585	7	1	0	0	42	19	49 (5.0%)	20 (3.4%)	929	564	2	1	
30～34	537	301	3	0	0	0	24	16	27 (5.0%)	16 (5.3%)	510	284	0	1	
35～39	715	383	2	0	0	0	35	9	37 (5.2%)	9 (2.3%)	675	475	3	2	
40～44	537	396	2	0	0	0	32	15	34 (6.3%)	15 (3.8%)	497	379	6	2	
45～49	558	348	2	1	0	0	37	26	39 (7.0%)	27 (7.8%)	510	320	9	1	
50～54	501	250	8	2	0	0	48	17	56 (11.2%)	19 (7.6%)	436	231	9	0	
55～59	407	204	2	2	0	0	38	19	40 (9.8%)	21 (10.3%)	344	179	23	4	
60～64	333	149	4	0	0	0	55	23	59 (17.7%)	23 (15.4%)	256	123	18	3	
65～69	230	107	3	1	0	1	36	13	39 (17.0%)	15 (14.0%)	176	90	15	2	
70才以上	105	47	3	1	0	0	23	10	26 (24.8%)	11 (23.4%)	69	34	10	2	
計	4903	2770	36	8	0	1	370	167	406 (8.3%)	176 (6.4%)	4402	2679	95	18	
合計	7673		44 (0.6%)		1 (0.0%)		537 (7.0%)		582 (7.6%)		7081 (92.3%)		113 (1.5%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	44	18	(40.9%)	0	9	1	1	7	26

受診結果内訳



【治療理由】	件数
・心房細動	4件
・胸部動脈瘤	1件
・高血圧性心疾患～肥大型心筋症	1件
【他院紹介理由】	件数
・ブルガダ症候群疑い	1件

人間ドック 有所見率：8.7% 要精査率：0.4% 精査受診率：100

健康診断 有所見率：7.6% 要精査率：0.6% 精査受診率：40.9%

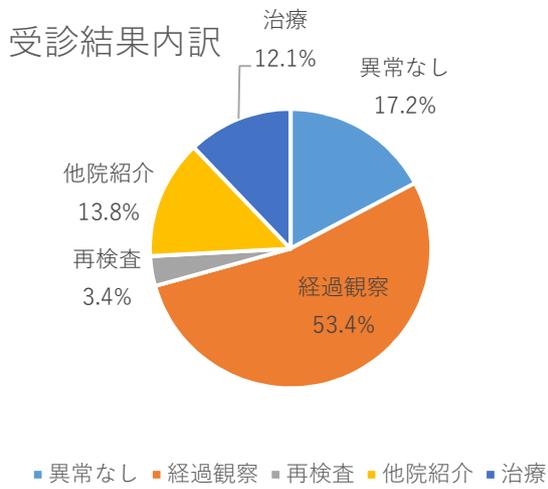
有所見率は、2023年度厚生労働省「定期健康診断実施結果」の10.7%に対して、人間ドック・健診双方下回っている。人間ドックの要精査率は0.4%で、精査受診率は100%だった。受診当日に医師からの十分な説明と受診勧奨ができたことが受診率の向上につながっていると考える。

健診では、男性の若年層も要精査者が多く、55歳以上では治療中も多い。働き盛り世代では、過重労働や交代勤務、睡眠不足に起因して心血管疾患や心房細動による脳梗塞を引き起こす可能性もあるが、精査受診率は40.9%と低い。精査受診率向上のために特に若年層に対する啓発も行っていく必要がある。

■腹部超音波検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	22	6	0	0	0	0	12	1	12 (54.5%)	1 (16.7%)	10	5	0	0
30～34	71	15	0	0	0	1	44	8	44 (62.0%)	9 (60.0%)	27	6	0	0
35～39	187	53	0	1	4	2	124	27	128 (68.4%)	30 (56.6%)	59	23	0	0
40～44	198	66	5	2	1	1	139	38	145 (73.2%)	41 (62.1%)	53	25	0	0
45～49	236	67	7	5	1	0	188	41	196 (83.1%)	46 (68.7%)	40	21	0	0
50～54	245	52	12	2	7	0	193	37	212 (86.5%)	39 (75.0%)	32	13	1	0
55～59	172	47	10	4	3	0	139	38	152 (88.4%)	42 (89.4%)	20	5	0	0
60～64	104	43	8	5	3	1	87	32	98 (94.2%)	38 (88.4%)	6	4	0	1
65～69	88	27	10	0	2	0	73	19	85 (96.6%)	19 (70.4%)	2	8	1	0
70才以上	92	52	5	4	1	1	78	39	84 (91.3%)	44 (84.6%)	8	8	0	0
計	1415	428	57	23	22	6	1077	280	1156 (81.7%)	309 (54.1%)	257	118	2	1
合計	1843		80 (4.3%)		28 (1.5%)		1357 (73.6%)		1465 (79.5%)		375 (20.3%)		3 (0.2%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	80	58	(72.5%)	10	31	2	8	7	22



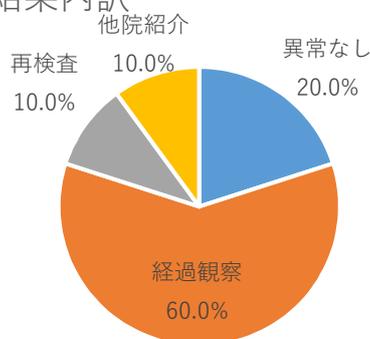
- 【治療理由】
- ・腎がん 1件
 - ・腎細胞がん疑い 1件
 - ・胆石 1件
 - ・胆嚢腫瘍 1件
 - ・胆のうポリープ 1件
 - ・膵嚢胞 1件
 - ・腎結石 1件
- 【他院紹介理由】
- ・腎細胞がん 1件
 - ・肝腫瘍の造影CT実施のため 1件
 - ・主膵管拡張 1件
 - ・総胆管拡張・肝内胆管拡張 1件
 - ・膵頭部腫瘍疑い 1件
 - ・悪性リンパ腫疑い 1件
 - ・膵IPMN 1件

■腹部超音波検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	3	0	0	0	0	0	1	0	1 (33.3%)	0	2	0	0	0
30～34	9	3	0	0	0	0	4	2	4 (44.4%)	2 (66.7%)	5	1	0	0
35～39	22	12	0	0	0	0	14	5	14 (63.6%)	5 (41.7%)	8	6	0	1
40～44	18	32	1	1	0	0	8	13	9 (50.0%)	14 (43.8%)	8	17	1	1
45～49	11	26	0	2	0	0	8	16	8 (72.7%)	18 (69.2%)	3	8	0	0
50～54	21	21	0	3	0	0	14	11	14 (66.7%)	14 (66.7%)	7	5	0	2
55～59	14	16	2	2	0	0	11	9	13 (92.9%)	11 (68.8%)	1	5	0	0
60～64	19	7	3	0	1	0	13	5	17 (89.5%)	5 (71.4%)	2	2	0	0
65～69	14	7	1	0	0	0	13	3	14 (100.0%)	3 (42.9%)	0	4	0	0
70才以上	17	5	2	0	1	1	12	0	15 (88.2%)	1 (20.0%)	2	3	0	1
計	148	129	9	8	2	1	98	64	109 (73.6%)	73 (56.6%)	38	51	1	5
合計	277		17 (6.1%)		3 (1.1%)		162 (58.5%)		182 (65.7%)		89 (32.1%)		6 (2.2%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	17	10	(58.8%)	2	6	1	1	0	7

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

【治療理由】

・0件

【他院紹介理由】

・悪性リンパ腫にて専門病院へ 1件

人間ドック 有所見率：79.5% 要精査率：4.3% 精査受診率：72.5%

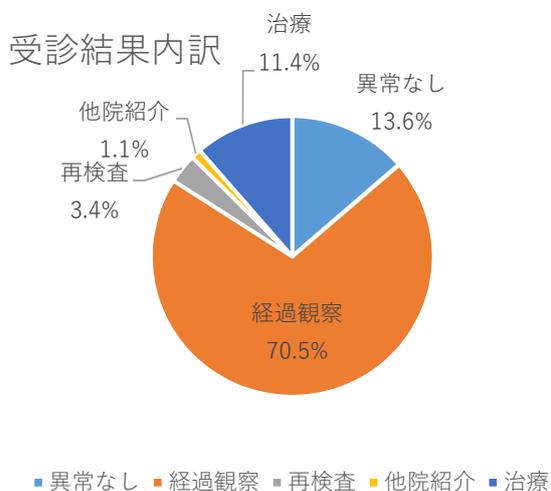
健康診断 有所見率：65.7% 要精査率：6.1% 精査受診率：58.8%

受診者における半数以上に所見が見られ、年齢が上がるに従い有所見率も増加傾向である。人間ドック及び健診において、有所見者の割合は全体の70～80%である。そのうち脂肪肝が認められる受診者の割合は人間ドックで90%、健診で70%程となっている。脂肪肝は放置する人も多いので、生活習慣の見直しも必要である。要精査となった項目の割合は、膵臓（ドック：30% 健診：24%）肝臓（ドック：23% 健診：24%）胆嚢（ドック：21% 健診：12%）の順である。

■眼底検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中		
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	22	6	0	1	0	0	0	0	0	1 (16.7%)	0	22	5	0	0
30～34	71	15	5	0	0	0	0	0	5 (7.0%)	0	65	15	1	0	
35～39	187	53	12	2	0	0	1	0	13 (7.0%)	2 (3.8%)	171	50	3	1	
40～44	198	66	18	3	0	0	0	0	18 (9.1%)	3 (4.5%)	176	62	4	1	
45～49	236	67	20	1	0	0	0	0	20 (8.5%)	1 (1.5%)	208	63	8	3	
50～54	246	52	19	3	0	0	1	0	20 (8.1%)	3 (5.8%)	214	45	12	4	
55～59	171	47	15	3	0	0	1	0	16 (9.4%)	3 (6.4%)	135	38	20	6	
60～64	104	43	10	4	0	0	0	0	10 (9.6%)	4 (9.3%)	79	34	15	5	
65～69	88	27	6	2	0	0	0	0	6 (6.8%)	2 (7.4%)	62	17	20	8	
70才以上	91	52	4	5	0	0	2	0	6 (6.6%)	5 (9.6%)	48	32	37	15	
計	1414	428	109	24	0	0	5	0	114 (8.1%)	24 (5.6%)	1180	361	120	43	
合計	1842		133 (7.2%)		0		5 (0.3%)		138 (7.5%)		1541 (83.7%)		163 (8.8%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	133	88	(66.2%)	12	62	3	1	10	45



【治療理由】

- ・ 緑内障 7件
- ・ 網膜静脈分枝閉塞症 1件
- ・ 網膜前膜 1件
- ・ 診断名不明（点眼治療） 1件

【他院紹介理由】

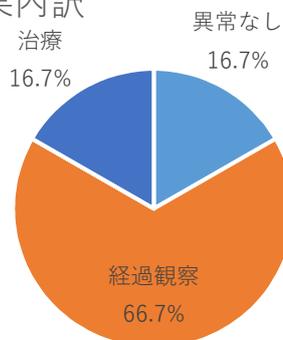
- ・ 白内障手術 1件

■眼底検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中		
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
30～34	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
35～39	22	9	3	1	0	0	0	0	3 (13.6%)	1 (11.1%)	19	8	0	0	
40～44	20	18	1	1	0	0	0	0	1 (5.0%)	1 (5.6%)	18	17	1	0	
45～49	17	16	2	1	0	0	0	0	2 (11.8%)	1 (6.3%)	15	15	0	0	
50～54	15	13	4	1	0	0	0	0	4 (26.7%)	1 (7.7%)	11	12	0	0	
55～59	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	0	0	
60～64	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	0	0	
65～69	5	9	1	0	0	0	0	0	1 (20.0%)	0	4	8	0	1	
70才以上	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7	1	1	
計	91	87	11	4	0	0	0	0	11 (12.1%)	4 (4.6%)	78	81	2	2	
合計	178		15 (8.4%)		0		0		15 (8.4%)		159 (89.3%)		4 (2.2%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	15	6	(40.0%)	1	4	0	0	1	9

受診結果内訳



■ 異常なし ■ 経過観察 ■ 再検査 ■ 他院紹介 ■ 治療

【治療開始理由】

・ 緑内障 1件

【他院紹介理由】

・ 0件

人間ドック 有所見率：7.5% 要精査率：7.2% 精査受診率：66.2 %

健康診断 有所見率：8.4% 要精査率：8.4% 精査受診率：40.0%

有所見者は人間ドック、一般健診双方において男性が多い。治療中・定期検査中は年齢とともに増加傾向である。所見内容としては、「視神経乳頭陥凹拡大」がほとんどを占め、精査受診の結果、緑内障で治療開始となる者が多かった。

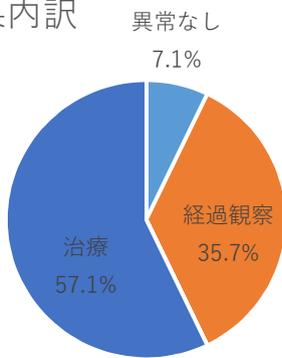
精査受診率は人間ドック66.2%、健診40.0%と差がみられる。人間ドックでは必須項目、健診は5年に1度の付加健診で行われる事が多い。人間ドックと健診受診者の健康意識の差も示唆される。眼底検査では、眼科疾患だけでなく高血圧や動脈硬化、糖尿病の状態も分かるため、検査結果を有効に活用するためにも、受診勧奨を工夫していく必要がある。

■血圧検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中		
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	22	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	6	0	0
30～34	71	15	1	0	0	0	4	1	5 (7.0%)	1 (6.7%)	65	14	1	0	
35～39	187	53	2	0	0	0	13	2	15 (8.0%)	2 (3.8%)	167	51	5	0	
40～44	198	66	2	0	0	0	16	1	18 (9.1%)	1 (1.5%)	170	63	10	2	
45～49	236	67	7	1	0	0	25	6	32 (13.6%)	7 (10.4%)	174	55	30	5	
50～54	246	52	5	1	0	0	26	5	31 (12.6%)	6 (11.5%)	152	42	63	4	
55～59	172	47	3	0	0	0	15	2	18 (10.5%)	2 (4.3%)	99	40	55	5	
60～64	104	43	1	0	0	0	8	3	9 (8.7%)	3 (7.0%)	40	25	55	15	
65～69	88	27	2	0	0	0	6	5	8 (9.1%)	5 (18.5%)	29	18	51	4	
70才以上	92	52	0	0	0	0	6	7	6 (6.5%)	7 (13.5%)	36	20	50	25	
計	1416	428	23	2	0	0	119	32	142 (10.0%)	34 (7.9%)	954	334	320	60	
合計	1844		25 (1.4%)		0		151 (8.2%)		176 (9.5%)		1288 (69.8%)		380 (20.6%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	25	14	(56.0%)	1	5	0	0	8	11

受診結果内訳



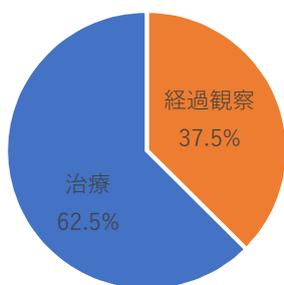
■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

■血圧検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況									異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	1091	660	3	0	0	0	20	1	23 (2.1%)	1 (0.2%)	1066	659	2	0	
30～34	581	310	6	0	0	0	20	10	26 (4.5%)	10 (3.2%)	549	298	6	2	
35～39	624	387	10	2	0	0	36	6	46 (7.4%)	8 (2.1%)	565	372	13	7	
40～44	546	410	14	6	0	0	48	15	62 (11.4%)	21 (5.1%)	446	376	38	13	
45～49	566	356	11	6	0	0	53	17	64 (11.3%)	23 (6.5%)	429	306	73	27	
50～54	503	255	17	5	0	0	73	18	90 (17.9%)	23 (9.0%)	303	199	110	33	
55～59	407	221	6	1	0	0	46	17	52 (12.8%)	18 (8.1%)	218	157	137	46	
60～64	336	161	6	2	0	0	34	14	40 (11.9%)	16 (9.9%)	160	106	136	39	
65～69	236	117	0	2	0	0	17	14	17 (7.2%)	16 (13.7%)	113	64	106	37	
70才以上	107	51	0	1	0	0	7	4	7 (6.5%)	5 (9.8%)	40	27	60	19	
計	4997	2928	73	25	0	0	354	116	427 (8.5%)	141 (4.8%)	3889	2564	681	223	
合計	7925		98 (1.2%)		0		470 (5.9%)		568 (7.2%)		6453 (81.4%)		904 (11.4%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	98	24	(24.5%)	0	9	0	0	15	74

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

人間ドック 有所見率：9.5% 要精査率：1.4% 精査受診率：56.0%

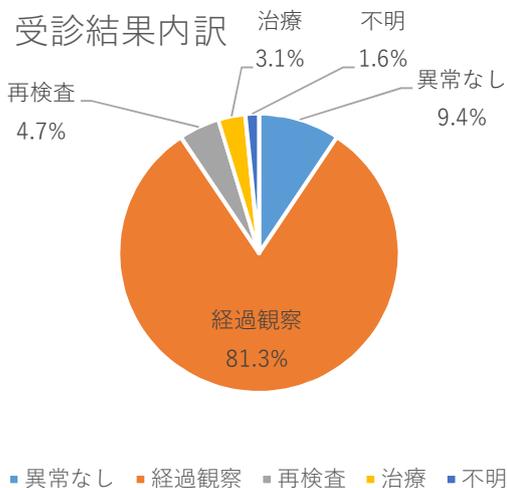
健康診断 有所見率：7.2% 要精査率：1.2% 精査受診率：24.5%

血圧の有所見率は、人間ドックと健診ともに2023年度厚生労働省「定期健康診断実施結果」有所見率18.3%と比較して低い結果であった。男女別では、どの項目においても男性が多く、自律神経やホルモンの影響、生活習慣の違いなどが理由に挙げられる。また、治療中の割合は、男女ともに40～60歳代で多くなっている。血圧は、日内変動や体調、環境的要因の影響を受けやすく、一時的な上昇も少なくない。その為、人間ドックや健診時の測定のみで判断せず、日常的な血圧値の聴取や家族血圧の把握が重要である。自覚症状が乏しい高血圧者も多く人間ドックや健診のタイミングで医療機関受診や生活改善の必要性を積極的に伝えることが必要となる。

■肝機能検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	22	6	2	0	1	0	2	1	5 (22.7%)	1 (16.7%)	17	5	0	0
30～34	71	15	4	0	5	1	21	5	30 (42.3%)	6 (40.0%)	40	9	1	0
35～39	187	53	13	0	9	0	59	12	81 (43.3%)	12 (22.6%)	104	41	2	0
40～44	198	66	20	1	10	0	59	13	89 (44.9%)	14 (21.2%)	109	52	0	0
45～49	236	67	24	1	13	0	71	15	108 (45.8%)	16 (23.9%)	125	50	3	1
50～54	246	52	20	0	5	1	81	6	106 (43.1%)	7 (13.5%)	128	44	12	1
55～59	172	47	19	0	6	0	37	16	62 (36.0%)	16 (34.0%)	101	30	9	1
60～64	104	43	4	1	3	0	29	7	36 (34.6%)	8 (18.6%)	66	35	2	0
65～69	88	27	9	0	4	1	29	5	42 (47.7%)	6 (22.2%)	42	20	4	1
70才以上	92	52	4	1	3	2	32	18	39 (42.4%)	21 (40.4%)	51	31	2	0
計	1416	428	119	4	59	5	420	98	598 (42.2%)	107 (25.0%)	783	317	35	4
合計	1844		123 (6.7%)		64 (3.5%)		518 (28.1%)		705 (38.2%)		1100 (59.7%)		39 (2.1%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	治療	不明	
	123	64	(52.0%)	6	52	3	2	1	59



【治療理由】

- ・アルコール性肝障害 1件
- ・アルコール性肝障害・脂肪肝 1件

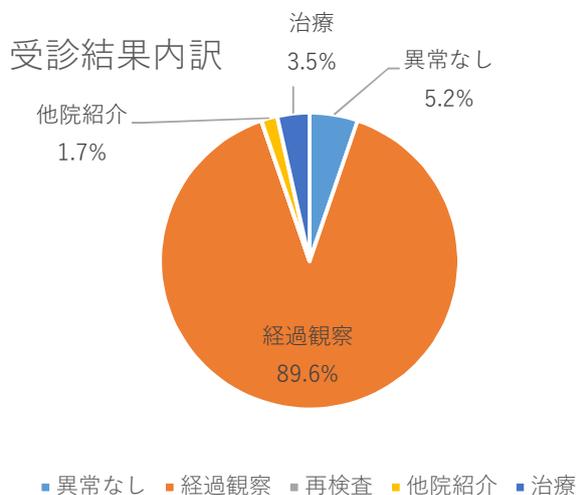
【他院紹介理由】

- ・0件

■肝機能検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況									異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	1026	628	62	8	38	0	115	18	215 (21.0%)	26 (4.1%)	809	602	2	0	
30～34	565	306	44	2	31	4	98	17	173 (30.6%)	23 (7.5%)	388	282	4	1	
35～39	618	384	65	1	29	1	107	34	201 (32.5%)	36 (9.4%)	414	345	3	3	
40～44	541	407	60	6	20	4	109	29	189 (34.9%)	39 (9.6%)	346	365	6	3	
45～49	561	354	60	10	17	3	82	20	159 (28.3%)	33 (9.3%)	393	319	9	2	
50～54	501	254	48	9	23	2	72	28	143 (28.5%)	39 (15.4%)	348	209	10	6	
55～59	406	221	41	2	8	2	51	24	100 (24.6%)	28 (12.7%)	290	188	16	5	
60～64	336	161	16	4	9	2	59	12	84 (25.0%)	18 (11.2%)	240	141	12	2	
65～69	236	117	20	1	4	1	29	7	53 (22.5%)	9 (7.7%)	174	103	9	5	
70才以上	107	51	5	1	1	0	15	7	21 (19.6%)	8 (15.7%)	82	39	4	4	
計	4897	2883	421	44	180	19	737	196	1338 (27.3%)	259 (9.0%)	3484	2593	75	31	
合計	7780		465 (6.0%)		199 (2.6%)		933 (12.0%)		1597 (20.5%)		6077 (78.1%)		106 (1.4%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	465	115	(24.7%)	6	103	0	2	4	350



【治療理由】

- ・肝機能異常で内服開始 4件

【他院紹介理由】

- ・慢性肝炎・B型肝炎の治療のため紹介 1件
- ・腹部エコー上臍頭部リンパ節腫大あり紹介 1件

人間ドック 有所見率：38.2% 要精査率：6.7% 精査受診率：52.0%
 健康診断 有所見率：20.5% 要精査率：6.0% 精査受診率：24.7%

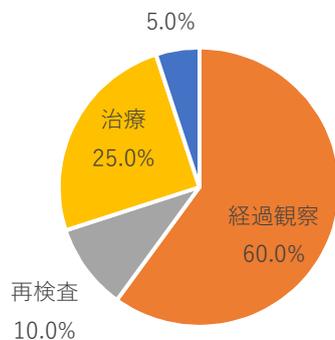
人間ドックの有所見率は、2023年度厚生労働省「定期健康診断実施結果」有所見率15.9%を大きく上回っている。要精査率は6.7%となっているが、受診率は52%と低い。要精査者の中には、当センター5年以内の履歴で要精査判定を受けた80%が未受診だった為、当日の受診勧奨は重要である。また、人間ドックでは腹部超音波検査で肝臓もみている。要精査者の約半分はBMI25以上かつ腹部超音波検査で脂肪肝の指摘がある。BMI25未満でも脂肪肝の指摘がある者は約8割であった。一方、健診でも有所見率は高い。若年層の男性で有所見者が多く、脂肪過多や飲酒量増加などの影響が考えられる。健診では、腹部超音波検査や肝炎ウイルスチェックの機会は少なく、肝機能異常の原因鑑別のため二次検査への受診勧奨が重要である。受診結果の経過観察者の多くは、節酒・体重減量などの生活指導が多かった。治療開始者は、肝炎や肝がんは含まれず、脂肪肝に対する内服治療開始であった。

■糖尿病関連検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	22	6	0	0	0	0	1	0	1 (4.5%)	0	21	6	0	0
30～34	71	15	0	0	0	0	1	0	1 (1.4%)	0	70	15	0	0
35～39	187	53	2	0	0	0	16	0	18 (9.6%)	0	168	53	1	0
40～44	198	66	4	0	1	0	22	1	27 (13.6%)	1 (1.5%)	170	63	1	2
45～49	236	67	1	0	3	0	37	8	41 (17.4%)	8 (11.9%)	188	59	7	0
50～54	246	52	5	0	1	0	46	4	52 (21.1%)	4 (7.7%)	167	44	27	4
55～59	172	47	7	0	1	0	29	7	37 (21.5%)	7 (14.9%)	108	36	27	4
60～64	104	43	2	0	1	0	17	8	20 (19.2%)	8 (18.6%)	60	32	24	3
65～69	88	27	4	0	0	0	27	6	31 (35.2%)	6 (22.2%)	43	17	14	4
70才以上	92	52	5	2	0	0	17	10	22 (23.9%)	12 (23.1%)	48	35	22	5
計	1416	428	30	2	7	0	213	44	250 (17.7%)	46 (10.7%)	1043	360	123	22
合計	1844		32 (1.7%)		7 (0.4%)		257 (13.9%)		296 (16.1%)		1403 (76.1%)		145 (7.9%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	治療	不明	
	32	20	(62.5%)	0	12	2	5	1	12

受診結果内訳 不明



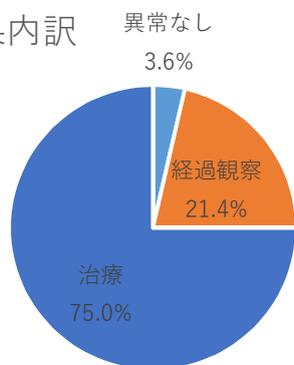
■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■治療 ■不明

■糖尿病関連検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況									異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	1060	640	10	1	1	0	12	3	23 (2.2%)	4 (0.6%)	1030	633	7	3	
30～34	578	309	5	0	1	0	5	4	11 (1.9%)	4 (1.3%)	558	305	9	0	
35～39	618	387	11	3	0	0	21	6	32 (5.2%)	9 (2.3%)	581	378	5	0	
40～44	545	410	11	2	2	1	20	5	33 (6.1%)	8 (2.0%)	498	398	14	4	
45～49	565	356	14	0	5	0	31	13	50 (8.8%)	13 (3.7%)	489	338	26	5	
50～54	501	242	6	2	2	2	39	15	47 (9.4%)	19 (7.9%)	408	220	46	3	
55～59	405	219	7	1	5	0	40	11	52 (12.8%)	12 (5.5%)	308	198	45	9	
60～64	335	161	8	2	4	0	19	17	31 (9.3%)	19 (11.8%)	259	138	45	4	
65～69	236	117	6	2	1	2	21	10	28 (11.9%)	14 (12.0%)	168	91	40	12	
70才以上	107	51	3	0	2	2	17	2	22 (20.6%)	4 (7.8%)	62	41	23	6	
計	4950	2892	81	13	23	7	225	86	329 (6.6%)	106 (3.7%)	4361	2740	260	46	
合計	7842		94 (1.2%)		30 (0.4%)		311 (4.0%)		435 (5.5%)		7101 (90.6%)		306 (3.9%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	94	28	(29.8%)	1	6	0	0	21	66

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

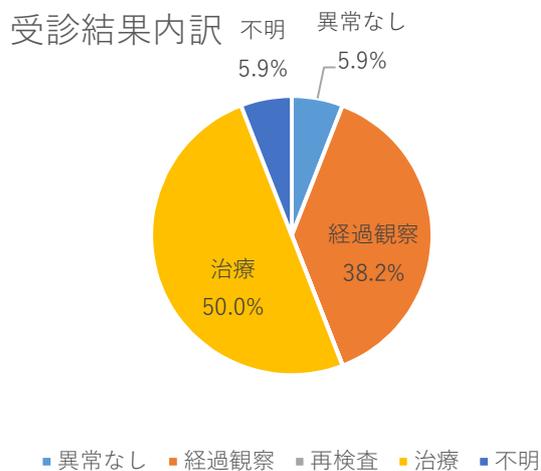
人間ドック 有所見率16.1% 要精査率1.7% 精査受診率62.5%
 健康診断 有所見率5.5% 要精査率1.2% 精査受診率29.8%

有所見率は、2023年度厚生労働省「定期健康診断実施結果」の有所見率13.1%に対して人間ドックでは、わずかに上回る結果となった。一方健診では、5.5%とかなり低い。人間ドックでは、HbA1cが必須項目となっており、軽度異常を拾いやすい事に加え、受診者の年齢層の違いなども要因の一つと考えられる。男女別に見ると、男性の有所見率が高く、男女ともに40歳代後半から有所見率が高くなっている。男性では、50歳代以降の治療中も多い。人間ドック・健診双方において継続受診者で前年度も要精密検査・治療の判定を受けながら未受診の者が多く見られた。糖尿病は、糖尿病性網膜症や糖尿病性腎症、心臓や脳血管疾患などのリスクも高まる。その為、当日の生活指導に加え医療機関への受診勧奨の徹底と継続的なフォローが重要である。

■脂質関連検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	22	6	0	0	0	0	5	0	5 (22.7%)	0	17	6	0	0
30～34	71	15	3	0	0	0	21	6	24 (33.8%)	6 (40.0%)	45	9	2	0
35～39	187	53	9	1	0	0	58	14	67 (35.8%)	15 (28.3%)	109	36	11	2
40～44	198	66	13	3	1	0	76	16	90 (45.5%)	19 (28.8%)	96	47	12	0
45～49	236	67	14	1	1	0	80	21	95 (40.3%)	22 (32.8%)	113	43	28	2
50～54	246	52	8	2	2	0	86	21	96 (39.0%)	23 (44.2%)	98	25	52	4
55～59	172	47	5	2	1	1	55	21	61 (35.5%)	24 (51.1%)	67	14	44	9
60～64	104	43	7	1	0	0	22	15	29 (27.9%)	16 (37.2%)	40	14	35	13
65～69	88	27	2	0	0	0	26	14	28 (31.8%)	14 (51.9%)	29	4	31	9
70才以上	92	52	0	2	0	0	22	12	22 (23.9%)	14 (26.9%)	27	14	43	24
計	1416	428	61	12	5	1	451	140	517 (36.5%)	153 (35.7%)	641	212	258	63
合計	1844		73 (4.0%)		6 (0.3%)		591 (32.0%)		670 (36.3%)		853 (46.3%)		321 (17.4%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	治療	不明	
	73	34	(46.6%)	2	13	0	17	2	39

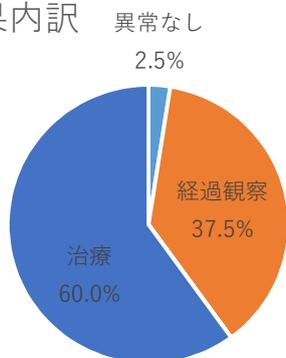


■脂質関連検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	1026	629	28	5	6	0	238	111	272 (26.5%)	116 (18.4%)	743	511	11	2
30～34	565	306	30	1	6	1	158	56	194 (34.3%)	58 (19.0%)	367	248	4	0
35～39	618	384	39	4	6	2	210	79	255 (41.3%)	85 (22.1%)	355	298	8	1
40～44	541	407	26	7	2	0	212	91	240 (44.4%)	98 (24.1%)	282	304	19	5
45～49	564	354	35	18	7	1	209	90	251 (44.5%)	109 (30.8%)	272	236	41	9
50～54	501	254	18	15	3	0	161	110	182 (36.3%)	125 (49.2%)	254	107	65	22
55～59	406	221	21	18	5	2	125	75	151 (37.2%)	95 (43.0%)	183	79	72	47
60～64	336	161	9	13	0	1	96	59	105 (31.3%)	73 (45.3%)	171	47	60	41
65～69	236	117	7	10	1	0	63	40	71 (30.1%)	50 (42.7%)	106	27	59	40
70才以上	107	51	0	1	0	1	22	12	22 (20.6%)	14 (27.5%)	61	21	24	16
計	4900	2884	213	92	36	8	1494	723	1743 (35.6%)	823 (28.5%)	2794	1878	363	183
合計	7784		305 (3.9%)		44 (0.6%)		2217 (28.5%)		2566 (33.0%)		4672 (60.0%)		546 (7.0%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	305	40	(13.1%)	1	15	0	0	24	265

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

人間ドック 有所見率：36.3% 要精査率：4.0% 精査受診率：46.6%

健康診断 有所見率：33.0% 要精査率：3.9% 精査受診率：13.1%

2023年度厚生労働省「定期健康診断実施結果」有所見率（31.2%）と比較して、人間ドック・健診ともに上回る形となった。男女とも、比較的若年層から有所見率が高く、50歳以上では女性の方が高くなる。これは、女性ホルモンによって抑制されていたLDLコレステロール値が閉経により上昇することが影響している可能性がある。一方、男性では30歳代後半から高値を示し、働く世代においても有所見率が高く、運動不足や脂質過多の食生活など生活習慣の影響が考えられる。特に健診では精査受診率が低いため、若年層への生活指導の充実や、要精査者への早期の医療機関の受診促進が重要と考えられる。

■胸部CT検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
40～44	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0
45～49	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
50～54	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0
55～59	6	1	1	0	0	0	0	0	1 (16.7%)	0	5	1	0	0
60～64	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
65～69	4	0	0	0	0	0	1	0	1 (25.0%)	0	3	0	0	0
70才以上	3	0	0	0	0	0	2	0	2 (66.7%)	0	1	0	0	0
計	33	5	1	0	0	0	3	0	4 (12.1%)	0	29	5	0	0
合計	38		1 (2.6%)		0		3 (7.9%)		4 (10.5%)		34 (89.5%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	1	1	(100.0%)	0	1	0	0	0	0

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

■胸部CT検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
40～44	3	5	0	0	0	0	1	0	1 (33.3%)	0	2	5	0	0
45～49	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
50～54	3	0	0	0	0	0	1	0	1 (33.3%)	0	2	0	0	0
55～59	3	5	0	0	0	0	0	2	0	2 (40.0%)	3	3	0	0
60～64	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
65～69	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1 (50.0%)	0	1	0	0
70才以上	2	0	0	0	0	0	1	0	1 (50.0%)	0	1	0	0	0
計	12	16	0	1	0	0	3	2	3 (25.0%)	3 (18.8%)	9	13	0	0
合計	28		1 (3.6%)		0		5 (17.9%)		6 (21.4%)		22 (78.6%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	1	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	1

人間ドック 有所見率：10.5% 要精査率：2.6% 精査受診率：100%
 健康診断 有所見率：21.4% 要精査率：3.6% 精査受診率：0%

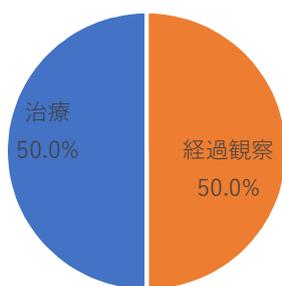
オプション検査であり受診者数はそれほど多くなく、人間ドック総受診者の2%、健診総受診者の0.3%程の検診率である。有所見率は人間ドックでは50歳代から健診では年齢に関係なく見られる。しかし、要精査率は共に低く4%以下（各1名）である。受診者数が少なく検討に苦慮するが、検査の有用性を受診者に広く勧奨していきたい。

■診察 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中		
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	22	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	6	0	0
30～34	71	15	0	1	0	0	0	1	0	2 (13.3%)	0	71	13	0	0
35～39	187	53	0	0	0	0	1	2	1 (0.5%)	2 (3.8%)	0	185	49	1	2
40～44	198	66	1	1	0	0	1	1	2 (1.0%)	2 (3.0%)	0	196	63	0	1
45～49	236	67	0	1	0	0	2	0	2 (0.8%)	1 (1.5%)	0	231	66	3	0
50～54	246	52	2	0	0	0	3	2	5 (2.0%)	2 (3.8%)	0	240	48	1	2
55～59	172	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	172	47	0	0
60～64	104	43	0	0	0	0	0	1	0	1 (2.3%)	0	103	42	1	0
65～69	88	27	2	0	0	0	3	0	5 (5.7%)	0	0	80	27	3	0
70才以上	92	52	0	0	0	0	1	0	1 (1.1%)	0	0	90	48	1	4
計	1416	428	5	3	0	0	11	7	16 (1.1%)	10 (2.3%)	0	1390	409	10	9
合計	1844		8 (0.4%)		0		18 (1.0%)		26 (1.4%)		1799 (97.6%)		19 (1.0%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	8	4	(50.0%)	0	2	0	0	2	4

受診結果内訳



【治療理由】
 ・心房細動 2件

【他院紹介理由】
 ・0件

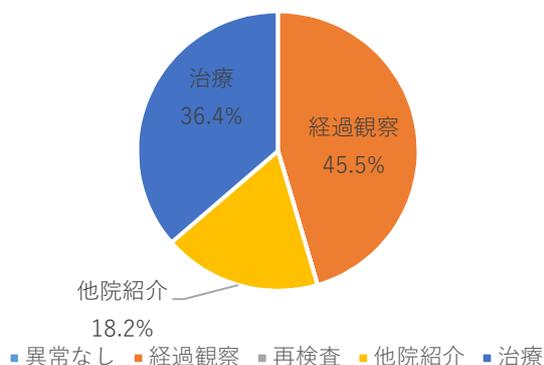
■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

■診察 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況									異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	1092	659	0	5	0	0	4	10	4 (0.4%)	15 (2.3%)	1088	639	0	5	
30～34	583	310	0	1	0	0	4	4	4 (0.7%)	5 (1.6%)	579	302	0	3	
35～39	624	388	0	1	0	0	3	8	3 (0.5%)	9 (2.3%)	620	375	1	4	
40～44	545	411	0	0	0	0	2	5	2 (0.4%)	5 (1.2%)	542	401	1	5	
45～49	566	356	2	0	0	0	3	7	5 (0.9%)	7 (2.0%)	555	344	6	5	
50～54	503	255	0	3	0	0	3	0	3 (0.6%)	3 (1.2%)	497	249	3	3	
55～59	407	220	0	0	0	0	3	2	3 (0.7%)	2 (0.9%)	401	214	3	4	
60～64	336	161	0	2	0	0	3	3	3 (0.9%)	5 (3.1%)	329	152	4	4	
65～69	236	117	2	0	0	0	2	2	4 (1.7%)	2 (1.7%)	230	111	2	4	
70才以上	107	47	2	0	0	0	1	1	3 (2.8%)	1 (2.1%)	100	45	4	1	
計	4999	2924	6	12	0	0	28	42	34 (0.7%)	54 (1.8%)	4941	2832	24	38	
合計	7923		18 (0.2%)		0		70 (0.9%)		88 (1.1%)		7773 (98.1%)		62 (0.8%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	18	11	(61.1%)	0	5	0	2	4	7

受診結果内訳



【治療理由】

- ・甲状腺腫 1件
- ・不整脈 2件
- ・呼吸音異常 1件

【他院紹介理由】

- ・間質性肺炎のため基幹病院へ紹介 1件
- ・甲状腺腫大のため専門病院へ紹介 1件

人間ドック 有所見率：1.4% 要精査率：0.4% 精査受診率：50.0%
 健診診断 有所見率：1.1% 要精査率：0.2% 精査受診率：61.1%

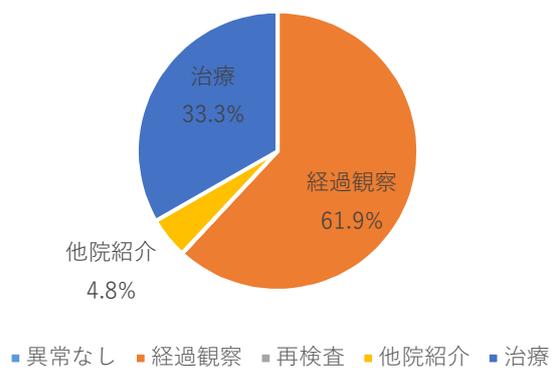
人間ドックと健康診断の有所見率は1.4%、1.1%と共に低い。また、要精査率は共に0.5%未満である。要精査の診察所見でがんを疑う所見はなく、「甲状腺腫大」「不整脈」「心雑音」等の所見が見られた。精査受診率は50～60%程である。診察時に医師より受診を勧めることが出来るため、今後の受診行動に繋がっていくと考える。

■PSA検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	22	0	0		1		0		1 (4.5%)	0	21		0	
30～34	70	0	0		1		0		1 (1.4%)	0	69		0	
35～39	176	0	0		1		0		1 (0.6%)	0	175		0	
40～44	183	0	0		0		0		0	0	183		0	
45～49	210	0	1		0		0		1 (0.5%)	0	208		1	
50～54	231	0	5		0		0		5 (2.2%)	0	224		2	
55～59	161	0	3		0		0		3 (1.9%)	0	155		3	
60～64	97	0	5		0		0		5 (5.2%)	0	87		5	
65～69	88	0	8		0		0		8 (9.1%)	0	73		7	
70才以上	91	0	10		0		0		10 (11.0%)	0	61		20	
計	1329	0	32	0	3	0	0	0	35 (2.6%)	0	1256	0	38	0
合計	1329		32 (2.4%)		3 (0.2%)		0		35 (2.6%)		1256 (94.5%)		38 (2.9%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	32	21	(65.6%)	0	13	0	1	7	11

受診結果内訳



【治療理由】

- ・前立腺がん 1件
- ・前立腺肥大症 4件
- ・前立腺炎 2件

【他院紹介理由】

- ・前立腺がん 1件

■PSA検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	2		0		0		0		0	0	2		0	
30～34	0		0		0		0		0	0	0		0	
35～39	8		0		0		0		0	0	8		0	
40～44	8		0		0		0		0	0	8		0	
45～49	6		0		0		0		0	0	6		0	
50～54	9		0		0		0		0	0	9		0	
55～59	13		0		0		0		0	0	13		0	
60～64	11		1		0		0		1 (9.1%)	0	10		0	
65～69	10		1		0		0		1 (10.0%)	0	9		0	
70才以上	5		0		0		0		0	0	4		1	
計	72	0	2	0	0	0	0	0	2 (2.8%)	0	69	0	1	0
合計	72		2 (2.8%)		0		0		2 (2.8%)		69 (95.8%)		1 (1.4%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	2	2	(100.0%)	0	0	0	0	2	0

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

【治療理由】
 ・前立腺炎 1件
 ・前立腺肥大症 1件

【他院紹介理由】
 ・0件

人間ドック 有所見率：2.6% 要精査率：2.4% 精査受診率：65.6%
 健康診断 有所見率：2.8% 要精査率：2.8% 精査受診率：100%

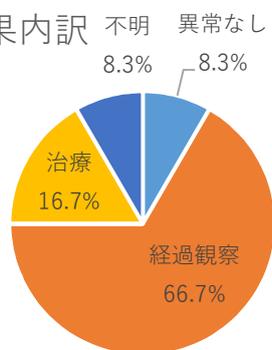
人間ドックにおいて関心度が高く、2023年度より受診項目になっている。健診ではオプション検査になるためドックと比較すると検査件数は少ない。受診者も50歳代からが多く、有所見率も60歳から高くなっている。人間ドックも年齢が高くなるにつれ有所見率の割合も高くなり、70歳以上では10%程度が要精査となっている。精査受診率は60%程度にとどまっているが、精査受診でがん発見となり、治療開始となったケースもある。また、健診の精査受診者の中にはがん発見はないが前立腺疾患の治療開始となっている。

■腎機能検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	22	6	0	0	0	0	1	0	1 (4.5%)	0	21	6	0	0
30～34	71	15	0	0	0	0	9	3	9 (12.7%)	3 (20.0%)	62	12	0	0
35～39	187	53	3	1	0	0	23	7	26 (13.9%)	8 (15.1%)	159	45	2	0
40～44	198	66	1	0	1	0	33	5	35 (17.7%)	5 (7.6%)	163	61	0	0
45～49	236	67	2	0	0	0	40	11	42 (17.8%)	11 (16.4%)	191	54	3	2
50～54	246	52	3	0	1	0	43	9	47 (19.1%)	9 (17.3%)	197	42	2	1
55～59	172	47	3	1	0	1	38	12	41 (23.8%)	14 (29.8%)	127	31	4	2
60～64	104	43	3	0	2	0	35	9	40 (38.5%)	9 (20.9%)	62	34	2	0
65～69	88	27	1	0	2	0	22	7	25 (28.4%)	7 (25.9%)	58	20	5	0
70才以上	92	52	2	0	1	0	42	18	45 (48.9%)	18 (34.6%)	40	33	7	1
計	1416	428	18	2	7	1	286	81	311 (22.0%)	84 (19.6%)	1080	338	25	6
合計	1844		20 (1.1%)		8 (0.4%)		367 (19.9%)		395 (21.4%)		1418 (76.9%)		31 (1.7%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	治療	不明	
	20	12	(60.0%)	1	8	0	2	1	8

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■治療 ■不明

【治療理由】

- 慢性腎臓病 1件
- 2型糖尿病 1件

【他院紹介理由】

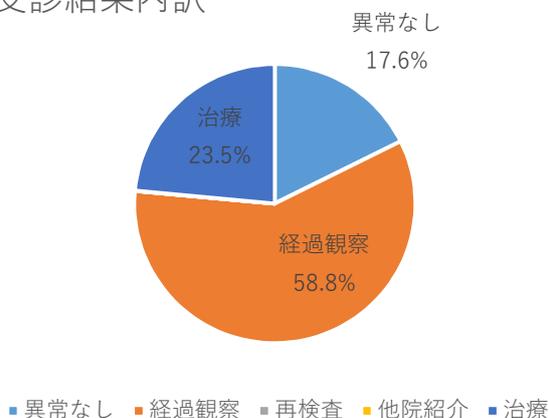
- 0件

■腎機能検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし 軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	1091	659	5	7	0	0	68	70	73 (6.7%)	77 (11.7%)	1014	581	4	1
30～34	582	310	4	5	0	1	30	45	34 (5.8%)	51 (16.5%)	545	256	3	3
35～39	624	386	6	5	2	0	34	60	42 (6.7%)	65 (16.8%)	581	320	1	1
40～44	544	409	7	8	1	1	50	48	58 (10.7%)	57 (13.9%)	484	350	2	2
45～49	566	356	4	8	0	2	53	62	57 (10.1%)	72 (20.2%)	507	280	2	4
50～54	503	255	6	4	2	2	45	37	53 (10.5%)	43 (16.9%)	438	209	12	3
55～59	407	221	7	7	2	0	43	24	52 (12.8%)	31 (14.0%)	350	187	5	3
60～64	336	161	10	2	3	0	39	16	52 (15.5%)	18 (11.2%)	272	141	12	2
65～69	236	117	4	1	1	0	25	12	30 (12.7%)	13 (11.1%)	197	101	9	3
70才以上	107	50	4	2	2	0	12	8	18 (16.8%)	10 (20.0%)	84	36	5	4
計	4996	2924	57	49	13	6	399	382	469 (9.4%)	437 (14.9%)	4472	2461	55	26
合計	7920		106 (1.3%)		19 (0.2%)		781 (9.9%)		906 (11.4%)		6933 (87.5%)		81 (1.0%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	106	17	(16.0%)	3	10	0	0	4	89

受診結果内訳



【治療理由】

- ・急性膀胱炎 1件
- ・尿路結石 2件
- ・糖尿病性腎症 1件

【他院紹介理由】

- ・0件

人間ドック 有所見率：21.4% 要精査率：1.1% 精査受診率：60.0%

健康診断 有所見率：11.4% 要精査率：1.3% 精査受診率：16.0%

腎機能の検査として血液検査と尿検査を実施している。

人間ドックでは、有所見率21.4%、男性22.0%、女性19.6%であった。45歳以降治療中も多い。精査受診の結果、2名は治療開始となった。

健診では、有所見率11.4%、男性9.4%、女性14.9%だった。30～40代女性の有所見率が高い。精査受診の結果、4名治療開始となった。精査受診率が16%とかなり低い。腎臓病は自覚症状が出にくい。その為、健診での早期発見が重要であり、効果的な受診勧奨を行う必要がある。

■聴力検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	22	6	0	0	0	0	1	0	1 (4.5%)	0	21	6	0	0
30～34	71	15	0	0	0	0	2	0	2 (2.8%)	0	69	15	0	0
35～39	187	53	1	0	0	0	4	1	5 (2.7%)	1 (1.9%)	180	52	2	0
40～44	198	66	0	0	0	0	11	2	11 (5.6%)	2 (3.0%)	185	64	2	0
45～49	236	67	0	0	0	0	35	1	35 (14.8%)	1 (1.5%)	199	66	2	0
50～54	246	52	3	0	0	0	52	2	55 (22.4%)	2 (3.8%)	190	50	1	0
55～59	172	47	1	0	0	0	76	4	77 (44.8%)	4 (8.5%)	95	43	0	0
60～64	104	43	2	0	0	0	48	7	50 (48.1%)	7 (16.3%)	53	36	1	0
65～69	88	26	1	0	0	0	63	8	64 (72.7%)	8 (30.8%)	24	18	0	0
70才以上	91	52	0	0	0	0	83	34	83 (91.2%)	34 (65.4%)	8	18	0	0
計	1415	427	8	0	0	0	375	59	383 (27.1%)	59 (13.8%)	1024	368	8	0
合計	1842		8 (0.4%)		0		434 (23.6%)		442 (24.0%)		1392 (75.6%)		8 (0.4%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	8	1	(12.5%)	0	1	0	0	0	7

受診結果内訳



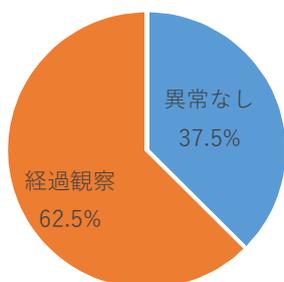
■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

■聴力検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況									異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	1087	657	1	1	0	0	13	7	14 (1.3%)	8 (1.2%)	1073	647	0	2	
30～34	577	310	1	0	0	0	9	1	10 (1.7%)	1 (0.3%)	564	308	3	1	
35～39	621	382	2	1	0	0	29	2	31 (5.0%)	3 (0.8%)	590	377	0	2	
40～44	536	390	3	2	0	0	48	7	51 (9.5%)	9 (2.3%)	483	379	2	2	
45～49	560	346	5	3	0	0	56	8	61 (10.9%)	11 (3.2%)	497	334	2	1	
50～54	502	248	5	2	0	0	100	18	105 (20.9%)	20 (8.1%)	395	226	2	2	
55～59	404	198	2	0	0	0	115	18	117 (29.0%)	18 (9.1%)	284	176	3	4	
60～64	331	140	3	1	0	0	161	21	164 (49.5%)	22 (15.7%)	164	117	3	1	
65～69	224	94	1	0	0	0	146	31	147 (65.6%)	31 (33.0%)	77	60	0	3	
70才以上	93	33	0	0	0	0	70	14	70 (75.3%)	14 (42.4%)	23	18	0	1	
計	4935	2798	23	10	0	0	747	127	770 (15.6%)	137 (4.9%)	4150	2642	15	19	
合計	7733		33 (0.4%)		0		874 (11.3%)		907 (11.7%)			6792 (87.8%)		34 (0.4%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	33	8	(24.2%)	3	5	0	0	0	25

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

人間ドック 有所見率：24.0% 要精査率：0.4% 精査受診率：12.5%

健康診断 有所見率：11.7% 要精査率：0.4% 精査受診率：24.2%

有所見者数は年齢が上がるにつれて増加傾向であり、有所見率は、男性50代以降で増加、女性では60代以降で増加している。

2023年厚生労働省「定期健康診断実施結果」の有所見者率は、1000Hz 3.8%、4000Hz 7.2%となっている。男女別で比較すると、男性の有所見率が高い。受診結果として、「感音性難聴」や「騒音性難聴」による聴力低下で経過観察となった方が多かった。

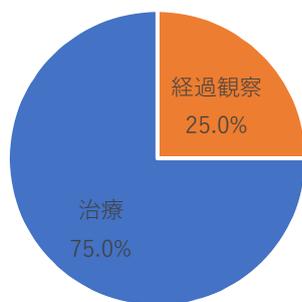
精査受診率に関してはドック12.5%、健診24.2%とかなり低い。症状や支障がなければ受診を後回しにすることも影響される。

■骨密度検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
30～34	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
35～39	0	4	0	0	0	0	0	2	0	2 (50.0%)	0	2	0	0
40～44	0	5	0	0	0	0	0	3	0	3 (60.0%)	0	2	0	0
45～49	0	11	0	0	0	0	0	6	0	6 (54.5%)	0	5	0	0
50～54	0	5	0	0	0	0	0	4	0	4 (80.0%)	0	1	0	0
55～59	0	11	0	2	0	0	0	2	0	4 (36.4%)	0	7	0	0
60～64	0	11	0	1	0	0	0	2	0	3 (27.3%)	0	4	0	4
65～69	0	5	0	1	0	0	0	2	0	3 (60.0%)	0	2	0	0
70才以上	0	6	0	0	0	0	0	3	0	3 (50.0%)	0	1	0	2
計	0	62	0	4	0	0	0	24	0	28 (45.2%)	0	28	0	6
合計	62		4 (6.5%)		0		24 (38.7%)		28 (45.2%)		28 (45.2%)		6 (9.7%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	4	4	(100.0%)	0	1	0	0	3	0

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

■骨密度検査 骨密度結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	1	5	0	0	0	0	1	2	1 (100.0%)	2 (40.0%)	0	3	0	0
40～44	0	9	0	0	0	0	0	4	0	4 (44.4%)	0	5	0	0
45～49	0	5	0	0	0	0	0	1	0	1 (20.0%)	0	4	0	0
50～54	0	9	0	0	0	0	0	4	0	4 (44.4%)	0	5	0	0
55～59	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1 (100.0%)	0	0	0	0
60～64	0	5	0	0	0	0	0	4	0	4 (80.0%)	0	0	0	1
65～69	0	4	0	2	0	0	0	1	0	3 (75.0%)	0	1	0	0
70才以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	38	0	3	0	0	1	16	1 (100.0%)	19 (50.0%)	0	18	0	1
合計	39		3 (7.7%)		0		17 (43.6%)		20 (51.3%)		18 (46.2%)		1 (2.6%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	3	2	(66.7%)	0	0	0	0	2	1

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

人間ドック 有所見率：45.2% 要精査率：6.5% 精査受診率：100%

健康診断 有所見率：51.3% 要精査率：7.7% 精査受診率：66.7%

骨密度検査はレディースドックの基本項目であり、女性受診者がほとんどだった。健診でも骨密度を追加オプションで選択する方は女性が多い。

受診年齢は40歳代以降に多く、50歳代後半より有所見者率が高くなっている。

骨粗鬆症は女性の罹患率が高く、特に閉経後に増加傾向である。女性ホルモンや生活習慣の影響が考えられる。

■MRI/MRA検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
35～39	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	0	0
40～44	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0
45～49	11	7	0	0	0	0	0	0	0	0	11	7	0	0
50～54	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0
55～59	11	6	0	0	0	0	1	0	1 (9.1%)	0	10	6	0	0
60～64	5	4	1	0	0	0	0	0	1 (20.0%)	0	4	4	0	0
65～69	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0
70才以上	6	6	0	0	0	0	1	0	1 (16.7%)	0	5	6	0	0
計	67	28	1	0	0	0	2	0	3 (4.5%)	0	64	28	0	0
合計	95		1 (1.1%)		0		2 (2.1%)		3 (3.2%)		92 (96.8%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	1	1	(100.0%)	0	1	0	0	0	0

受診結果内訳



- 異常なし
- 経過観察
- 再検査
- 他院紹介
- 治療

■MRI/MRA検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～44	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
45～49	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
50～54	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
55～59	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
60～64	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0
65～69	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
70才以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
計	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	16	2	0	0
合計	18		0		0		0		0		18 (100.0%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	0	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0

人間ドック 有所見率：3.2% 要精査率：1.1% 精査受診率：100%

人間ドック受診者のうち約5%の95名がMRI検査を受診しており、そのうち有所見者は3名であった。

所見内容は、亜急性期の脳梗塞/出血性梗塞、慢性虚血性変化、右中大脳動脈末梢動脈拡張であり、要精査となった1名の結果は経過観察となった。

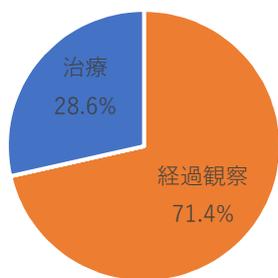
一方健診では、18名が受診し、すべての方が異常なし、もしくは軽度異常であった。

■頸動脈超音波検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	5	1	1	0	0	0	0	0	1 (20.0%)	0	4	1	0	0
40～44	4	0	0	0	0	0	1	0	1 (25.0%)	0	3	0	0	0
45～49	7	5	0	0	0	0	2	1	2 (28.6%)	1 (20.0%)	5	4	0	0
50～54	6	0	0	0	0	0	1	0	1 (16.7%)	0	5	0	0	0
55～59	10	4	2	1	0	0	3	2	5 (50.0%)	3 (75.0%)	5	1	0	0
60～64	4	2	0	0	0	0	1	0	1 (25.0%)	0	3	2	0	0
65～69	2	2	1	0	0	0	1	2	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0	0	0	0
70才以上	6	5	3	0	0	0	2	5	5 (83.3%)	5 (100.0%)	0	0	1	0
計	44	19	7	1	0	0	11	10	18 (40.9%)	11 (57.9%)	25	8	1	0
合計	63		8 (12.7%)		0		21 (33.3%)		29 (46.0%)		33 (52.4%)		1 (1.6%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	8	7	(87.5%)	0	5	0	0	2	1

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

<p>【治療理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無症候性内頸動脈狭窄症 1件 ・高血圧症 1件 <p>【他院紹介理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0件

■頸動脈超音波検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～54	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
55～59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	2	0	0	0	0	0	2	0	2 (100.0%)	0	0	0	0	0
70才以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	0	0	0	0	0	2	0	2 (66.7%)	0	1	0	0	0
合計	3		0		0		2 (66.7%)		2 (66.7%)		1 (33.3%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	0	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0

人間ドック 有所見率：46.0% 要精査率：12.7% 精査受診率：87.5%

頸動脈エコー検査受診者はドック受診者全体の3%程度で、有所見率は46%となっている。

要精密検査者のうち継続受診者は半数となっている。

要精査受診者で経過観察は5名、治療開始となった者は2名だった。

頸動脈の肥厚やプラークは動脈硬化の指標となるため、血圧コントロールや生活習慣の改善が重要である。

健診での受診者は3名。2人は経過観察で残り1名は異常なしとなっている。

■腫瘍マーカー検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中		
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
30～34	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
35～39	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	0	0
40～44	8	4	1	0	0	0	0	0	1 (12.5%)	0	0	7	4	0	0
45～49	12	8	0	1	0	0	0	0	0	1 (12.5%)	0	12	7	0	0
50～54	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	2	0	0
55～59	19	6	1	0	1	0	0	0	2 (10.5%)	0	0	17	6	0	0
60～64	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0
65～69	5	2	1	0	0	0	0	0	1 (20.0%)	0	0	4	2	0	0
70才以上	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0
計	76	31	3	1	1	0	0	0	4 (5.3%)	1 (3.2%)	0	72	30	0	0
合計	107		4 (3.7%)		1 (0.9%)		0		5 (4.7%)		102 (95.3%)		0		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	4	3	(75.0%)	0	3	0	0	0	1

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

■腫瘍マーカー検査 健診結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中		
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女	
29才以下	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
30～34	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0
35～39	2	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16	0	0
40～44	3	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	23	0	0
45～49	3	13	0	1	0	0	0	0	0	1 (7.7%)	3	12	0	0	
50～54	1	17	0	1	0	0	0	0	0	1 (5.9%)	1	16	0	0	
55～59	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11	0	0	
60～64	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	
65～69	1	6	0	1	0	0	0	1	0	2 (33.3%)	0	4	1	0	
70才以上	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
計	20	99	0	3	0	0	0	1	0	4 (4.0%)	19	95	1	0	
合計	119		3 (2.5%)		0		1 (0.8%)		4 (3.4%)		114 (95.8%)		1 (0.8%)		

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	3	1	(33.3%)	0	1	0	0	0	2

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

人間ドックにて 有所見率：4.7% 要精査率：3.7% 精査受診率：75.0%
 健康診断 有所見率：3.4% 要精査率：2.5% 精査受診率：33.3%

オプションとして、腫瘍マーカー検査を追加する受診者は人間ドック全体の10%程度であり男女比は男性が女性の2倍となっている。また健診においては、女性の希望が多く有所見者数も女性のみである。有所見率に大差はないが、精査受診率は人間ドックが70%強で、結果はすべて経過観察であった。一方、健診の精査受診率は低く、30%台にとどまっている。

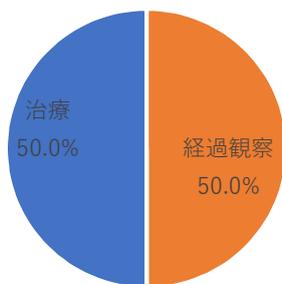
受診勧奨が出来るように、腫瘍マーカーの結果の見方など受診者が理解しやすい結果作成も今後の課題の一つである。

■心臓超音波検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
35～39	3	1	0	0	0	0	1	0	1 (33.3%)	0	2	1	0	0
40～44	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0
45～49	4	0	0	0	0	0	1	0	1 (25.0%)	0	3	0	0	0
50～54	13	1	0	0	1	0	2	0	3 (23.1%)	0	10	1	0	0
55～59	6	0	0	0	0	0	1	0	1 (16.7%)	0	5	0	0	0
60～64	8	4	0	0	0	0	2	0	2 (25.0%)	0	5	4	2	0
65～69	15	0	1	0	0	0	4	0	5 (33.3%)	0	9	0	0	0
70才以上	11	1	2	0	1	0	4	1	7 (63.6%)	1 (100.0%)	4	0	0	0
計	64	8	3	0	2	0	15	1	20 (31.3%)	1 (12.5%)	42	7	2	0
合計	72		3 (4.2%)		2 (2.8%)		16 (22.2%)		21 (29.2%)		49 (68.1%)		2 (2.8%)	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	3	2	(66.7%)	0	1	0	0	1	1

受診結果内訳



■異常なし ■経過観察 ■再検査 ■他院紹介 ■治療

【治療理由】

・大動脈閉鎖不全 1件

【他院紹介理由】

・0件

人間ドック 有所見率：29.2% 要精査率：4.2% 精査受診率；66.7%

心エコーの受診者割合は、男性が女性の8倍程度となっている。有所見者割合は、全体の約30%が70歳以上で最多であった。要精査の3名はいずれも65歳以上で、所見は左室機能低下、上行大動脈径拡張、大動脈弁閉鎖不全であった。いずれも加齢や動脈硬化に関連しやすい。

心エコーの結果は、後日発送のため当日の受診勧奨ができない。その為、適切なフォローが重要である。

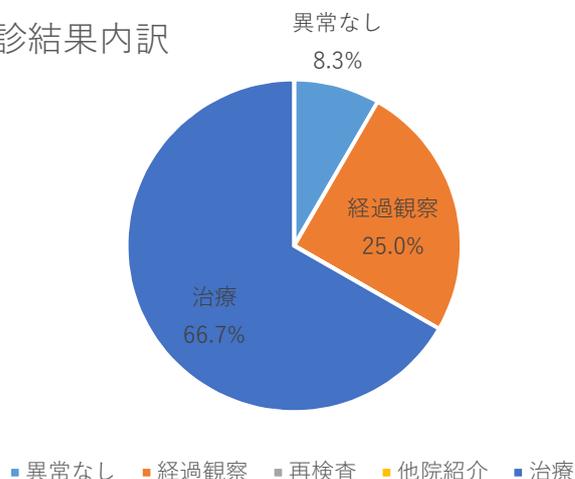
尚、健診のオプションで心エコーを検査した者はいなかった。

■大腸内視鏡検査 ドック結果

年齢	健診受診者数		結果判定状況								異常なし軽度異常		治療中	
			要精密検査・治療		要再検査		要生活改善		有所見者 合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男 (%)	女 (%)	男	女	男	女
29才以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
35～39	4	1	1	0	0	0	0	0	1 (25.0%)	0	3	1	0	0
40～44	3	1	1	0	0	0	0	0	1 (33.3%)	0	2	1	0	0
45～49	4	0	1	0	0	0	1	0	2 (50.0%)	0	2	0	0	0
50～54	12	1	1	0	0	0	6	1	7 (58.3%)	1 (100.0%)	5	0	0	0
55～59	5	0	1	0	0	0	0	0	1 (20.0%)	0	4	0	0	0
60～64	8	3	4	0	0	1	3	0	7 (87.5%)	1 (33.3%)	1	2	0	0
65～69	14	0	9	0	0	0	3	0	12 (85.7%)	0	2	0	0	0
70才以上	9	1	1	0	0	0	5	0	6 (66.7%)	0	3	1	0	0
計	60	7	19	0	0	1	18	1	37 (61.7%)	2 (28.6%)	23	5	0	0
合計	67		19 (28.4%)		1 (1.5%)		19 (28.4%)		39 (58.2%)		28 (41.8%)		0	

要精密検査・治療受診状況	判定者数	受診者数	受診率	受診結果					未把握未受診
				異常なし	経過観察	再検査	他院紹介	治療	
	19	12	(63.2%)	1	3	0	0	8	7

受診結果内訳



【治療理由】
 ・大腸ポリープ切除 8件

【他院紹介理由】
 ・0件

人間ドック 有所見率：58.2% 要精査率：28.4% 精査受診率；63.2%

検査受診者は男性が圧倒的に多く、女性の8倍以上となっている。これは、恥ずかしさや不安、多量の下剤や水を飲むのがつらいというイメージが女性の受診率の低さにつながっていると考える。国のがんの部位別統計では、女性の大腸がん死亡率や罹患数は高いため、情報提供をするとともに、女性が安心して検査を受けやすい体制は必要である。有所見率は58.2%で、そのうち要精査者の割合は28.4%である。精査受診率は63.2%となっており、さらに受診率を上げるためには、外来と連携をとり、受診しやすい体制を整えることが課題である。健診ではオプション検査になるため希望者なし。

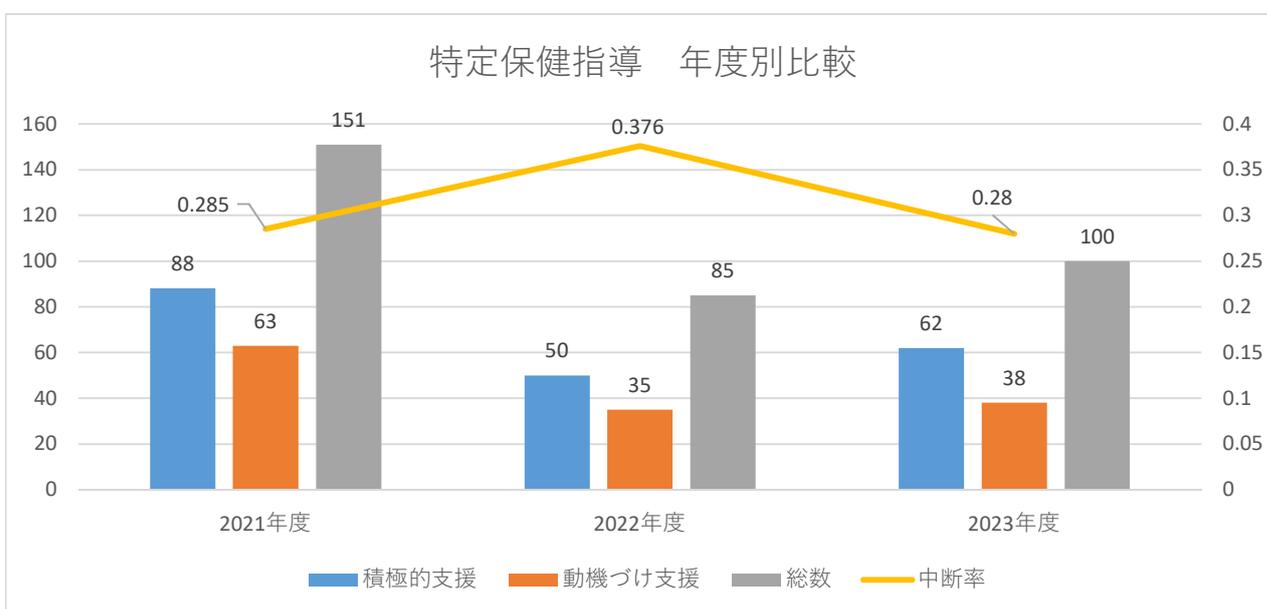
全体<階層別>

	2021年度	2022年度	2023年度
積極的支援	88名	50名	62名
動機づけ支援	63名	35名	38名
総数	151名	85名	100名
中断率	28.5%	37.6%	28.0%

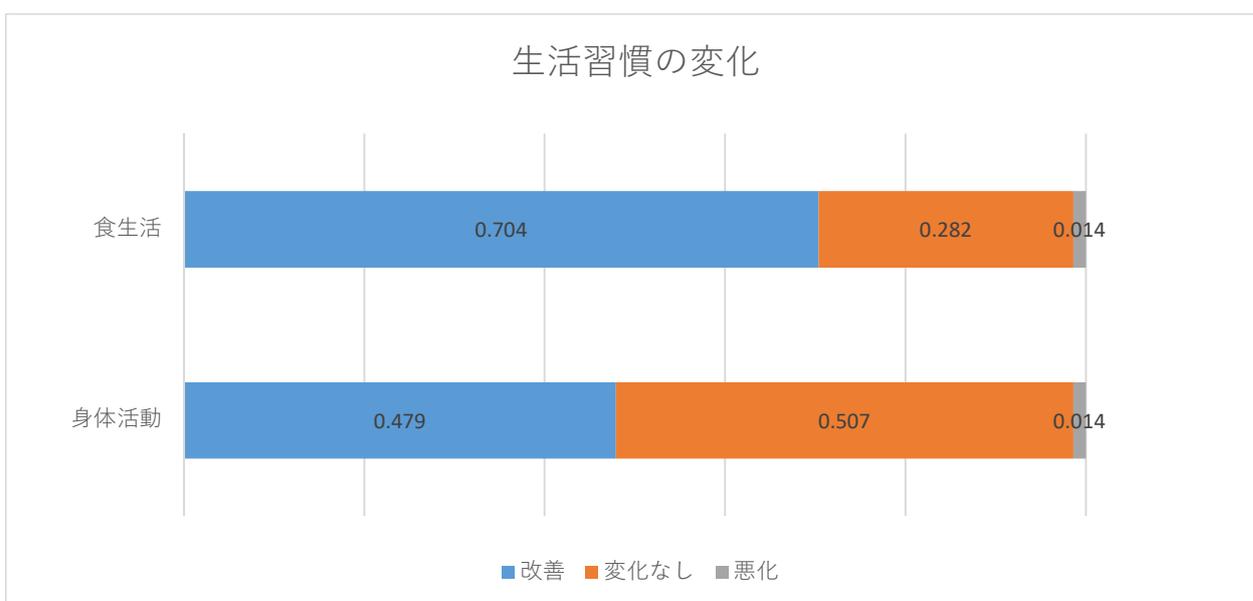
<保険者別>

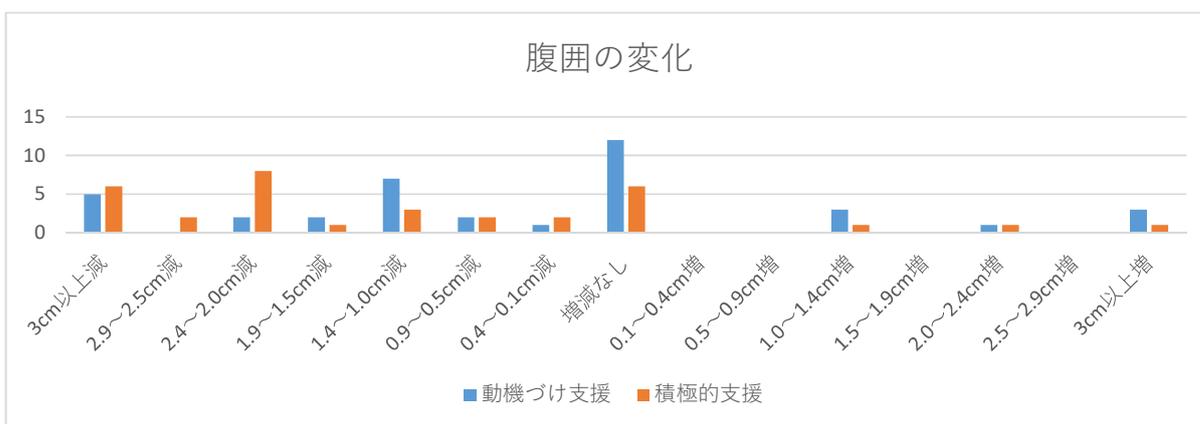
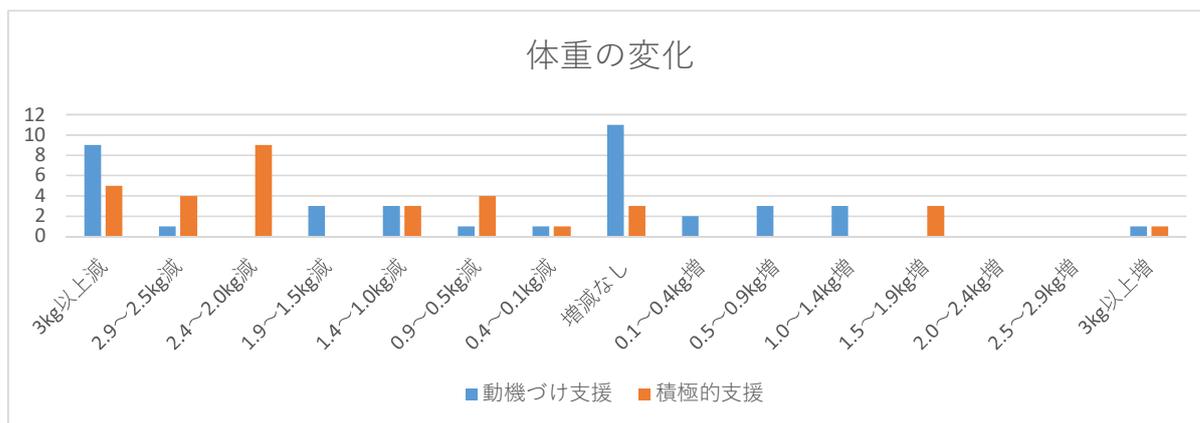
	2021年度	2022年度	2023年度
協会けんぽ	122名	61名	72名
国保連	9名	6名	4名
支払基金	16名	18名	23名
市町村職員共済組合	1名	0名	1名
公立学校共済組合	0名	0名	0名
日立造船健保	3名	0名	0名

特定保健指導 年度別比較



生活習慣の変化





特定保健指導の実施数は2021年度151件より減少したが、2022年度より実施数は増加し中断率もやや低下した。

保険者別にみると、協会けんぽの利用者が最も多く、例年同じ結果である。

生活習慣の変化について、食生活において保健指導実施前より改善した者は70.4%であり、保健指導時に普段の食事内容を振り返ることで食習慣の改善に繋がったと考える。身体活動については保健指導実施前より改善した者は47.9%、変化なしは50.7%であり、身体活動にはまだまだ介入の課題があると考えます。

体重と腹囲の変化については、保健指導実施前より減少した者の割合が多かった。体重-2kgもしくは腹囲-2cm以上の結果であった者のうち、翌年の階層化が改善した者は動機づけ支援3名（翌年非該当）、積極的支援5名（翌年動機づけ支援もしくは非該当）であった。特定保健指導終了時に体重・腹囲の大きな変化はなかったが、翌年階層化が改善した者も5名いた。

現在は人間ドックの受診者のみ当日血液データの説明を行っているが、健康診断の受診者には基本後日、電話にて血液データを説明している。特定保健指導対象者には健康意識の高い健診当日に、生活習慣の振り返りとともにデータでの客観的な情報を伝えられる体制づくりが必要である。受診者が行動変容できる具体的かつ実践可能な目標計画設定を行い、生活習慣病予防に努めていく。

社会医療法人 潤心会
熊本セントラル病院
2023年度 健診センター年報

発行日 2026年3月
発行 熊本セントラル病院 健診センター
住所 〒869-1102
熊本県菊池郡菊陽町原水2921番地
電話 096-285-5650